

2015年度

履修要綱

白鷗大学 教育学部

2015年度生

学籍番号

氏名

※この履修要綱は、卒業まで使用します。在学期間中一度のみ配布します。

目 次

－全学共通項目－

履修の手続き	7
1. 履修科目の決定から履修登録完了までの流れ	
試験及び成績	9
1. 単位の修得及び成績評価	
2. レポート	
3. 試験の種類・方法	
4. 成績	

－科目履修案内－

<全専攻共通>

教育課程	19
1. 単位の計算	2. 単位の認定
3. 授業科目の区分・性格等	4. 履修年次
5. 年間最高履修単位数	6. 進級について
7. 修業年限及び在学年限	8. 卒業要件
9. 再履修について	10. カリキュラムの適用について

目 次

I	児童教育専攻	27
1.	児童教育専攻	
(1)	Ⅰ群：外国語必修科目	(2) Ⅱ群：外国語・教養選択科目
(3)	Ⅲ群：専攻必修科目	(4)・(5) Ⅳ群：専門選択科目, Ⅴ群：卒業研究
(6)	自由選択	(7) 実習科目
(8)	他大学・他学部・他専攻等履修科目	(9) 随意科目
(10)	再履修について	
2.	カリキュラム表（教育学部 発達科学科 児童教育専攻）	
3.	児童教育専攻 卒業と免許・資格別所要単位数	
II	スポーツ健康専攻	43
1.	スポーツ健康専攻	
(1)	Ⅰ群：外国語必修科目	(2) Ⅱ群：外国語・教養選択科目
(3)	Ⅲ群：専攻必修科目	(4) Ⅳ群：専門選択科目
(5)	Ⅴ群：卒業研究	(6) 自由選択
(7)	実習科目	(8) 他大学・他学部・他専攻等履修科目
(9)	随意科目	(10) 再履修について
2.	カリキュラム表（教育学部 発達科学科 スポーツ健康専攻）	
3.	スポーツ健康専攻 卒業・免許別所要単位数	
III	英語教育専攻	57
1.	英語教育専攻	
(1)	Ⅰ群：外国語必修科目	(2) Ⅱ群：外国語・教養選択科目
(3)	Ⅲ群：専攻必修科目	(4) Ⅳ群：専門選択科目
(5)	Ⅴ群：卒業研究	(6) 自由選択
(7)	実習科目	(8) 他大学・他学部・他専攻等履修科目
(9)	随意科目	(10) 再履修について
2.	カリキュラム表（教育学部 発達科学科 英語教育専攻）	
3.	英語教育専攻 卒業・免許別所要単位数	
IV	心理学専攻	71
1.	心理学専攻	
(1)	Ⅰ群：外国語必修科目	(2) Ⅱ群：外国語・教養選択科目
(3)	Ⅲ群：専攻必修科目	(4) Ⅳ群：専門選択科目
(5)	Ⅴ群：卒業研究	(6) 自由選択
(7)	実習科目	(8) 他大学・他学部・他専攻等履修科目
(9)	随意科目	(10) 再履修について
2.	カリキュラム表（教育学部 発達科学科 心理学専攻）	
3.	心理学専攻 卒業・免許別所要単位数	
	履修要綱等の配布について	85

全学共通項目

履修の手続き

履修登録とは

履修登録とは、定められた期間に指定の方法で履修する授業科目を登録する手続きです。この手続きが完了されないと授業を受けることはもちろん、その科目の試験を受けることもできず単位も認定されません。

全ての科目は、大学の指定する期間に登録しなければなりません。

履修登録をするにあたり、各自卒業要件に照らして履修計画をたて、「履修要綱」および「シラバス（講義概要）」をよく読んだ上で、事前に時間割を作成しておいてください。

1. 履修科目の決定から履修登録完了までの流れ

1. カリキュラムに関係する書類の配布

次の配布物で、受たい授業や卒業に必要な単位数などを確認してください。

特に履修要綱は熟読の上、活用してください。

	配布物	内 容
①	履修要綱	カリキュラム（教育課程）や学修におけるルール、履修や試験・評価について、卒業に必要な単位などを示しています。（本冊子：1年次のみ配布。卒業まで使用します）
②	シラバス （講義概要）	シラバスには授業の進め方（計画）、講義の目的、評価方法など授業に関して詳細な事項が記載されています。どの授業を履修するか検討する際に重要となります。授業の進行状況に応じて、教員が内容を変更する場合があります。 つねに最新版のシラバスを確認してください。 Web シラバスの閲覧方法：大学ホームページ (http://hakuoh.jp) から閲覧
③	時間割・履修登録の手引き	1年間の時間割を示します。また、履修登録に関する各日程や方法の詳細を掲載します。前年度から変更となった事項なども掲載しますので、履修登録をする際には十分に確認が必要になります。（時間割は毎年配布されます。最新年度の時間割で確認してください。）

2. 履修ガイダンス（新入生のみ）

4月にカリキュラムや授業・試験に関する説明を行います。授業の履修の仕方、授業への出席の注意事項、試験受験の条件など、大学で授業を受け、単位を修得するために必要な説明が主になります。

必ず出席し、不明な点は質問して解決してください。

3. 時間割作成（学生個人がそれぞれで作成）

ガイダンスを受講した後に、どの授業科目を履修するかを、配布物（履修要綱や時間割）を基に、一年間の時間割を学生が組み立てて行きます。科目によっては、履修する曜日・時限が決められていたり（クラス指定など）、授業で使用する機器の事情から履修できる人数が決まっている科目などがあります。配布物で履修に関する注意事項を確認し、自分で時間割を作成してください。

4. 指定の履修登録期間に指定の場所で履修登録をする。
履修登録期間を「時間割・履修登録の手引き」で確認し、決められた期間・場所で、自分で作成した時間割に基づいて履修登録をしてください。授業によっては、初回授業時に教室で抽選処理を行うことがありますので、確認して指示に従ってください。
〔注意〕履修登録会場で出力される「申請科目一覧表」は履修を希望した科目を確認するものです。人数制限授業や抽選対象となった授業が含まれるなど、履修登録が確定された状態ではありません。抽選対象となった授業については学務部通信で発表されます。大学ホームページ履修登録抽選結果発表 WEB システムで履修許可・不許可の結果を確認し、履修が確定された全授業科目について「履修確認表」で確認しなくてはなりません。
* 履修登録に関する詳細な説明は「時間割・履修登録の手引き」に掲載されます。
5. 指定期間に学生情報端末より「履修確認表」を出力し、授業科目の確認をする。
履修登録した科目（抽選を行った授業で履修許可を得た科目を含む）の登録が完了しているか、「履修確認表」で確認してください。また、授業中など、教員の指示に従い登録状況について確認してください。万一、登録がされていない、修正しなくてはならないなどがあった場合は、指定の修正期間中に修正処理を完了してください。（教員に直接申し出ても、履修の変更はできません。必ずコンピュータでの履修登録修正を行ってください。）
履修登録が確定されていない科目への出席や試験の受験は、一切認められません。単位を修得することもできません。
* 履修修正期間など、履修登録に関する方法が変更となる場合もあります。変更については、掲示板などで案内しますので、必ず確認し、指示に従ってください。
6. 履修科目の確定および書類の保管について
履修確認期間中の「履修確認表」での確認、履修修正期間中の科目修正を含め、当該学期（年）の履修登録が確定した科目を「履修確認表」で確認し、完了となります。
その科目の成績が確定するまで、最後に出力した「申請科目一覧表」と「履修確認表」を保管するようにしてください。

試験および成績

1. 単位の修得および成績評価

履修登録した科目の単位認定を受けるためには、定期試験を受験しなければなりません。ただし科目によっては、平常授業の成績やレポート、実技・実習等により行われる場合もあります。各科目のシラバスに記載された成績評価の方法をよく確認してください。

2. レポート

授業科目によりレポート提出が求められることがあります。

【提出にあたっての注意】

- ①レポートは独力で作成すること。
他人が書いたもの、書籍、WEBなどの内容を引用する場合は、その箇所を明確に区分し、その出所を明示しなければなりません。
グループで勉強した場合に、同じ内容のレポートを個別に提出することは、認められません。
これがなされていない場合は、自分が書いたように装って作成したとみなされ、不正行為となります。
- ②科目担当教員の指示に従い提出すること。
レポート用紙は科目担当教員より特に用紙の指定がない場合には、各自で市販のものを用意すること。
- ③所定の表紙（本校舎教務課・東キャンパス学務課窓口に設置）に、黒または青のペンで「科目名、担当教員名、レポート課題、提出日、学籍番号、氏名」を記入し、ホチキスや紐で綴じて提出すること。
- ④指示された期日・時間までに、指定された場所に提出すること。
- ⑤期限以降はいかなる理由があっても一切受理しない。
- ⑥教員メールボックスへの投函および郵送による提出は認めない。
- ⑦一旦提出したレポートは一切返却しない。

【レポート回収ボックスへの提出】

科目担当教員から「レポート回収ボックス」へ提出の指示があった場合は、授業を実施しているキャンパスの「レポート回収ボックス」に、表示されている科目名・担当教員名をよく確認した上で提出してください。

※間違ったボックスや表示のないボックスに投函されたレポートは受理できません。

〔設置場所〕 本校舎 本館 1階ロビー入口

2号館3階エレベータ前

東キャンパス：2階教員メールボックスコーナー前

3. 試験の種類・方法

試験の種類

- (1) 前期定期試験：前期末に実施する試験
- (2) 後期定期試験：後期末・学年末に実施する試験
- (3) 追 試 験：『白鷗大学試験実施規程』の定める事由により定期試験を受験できなかった場合に実施することがあります。
- (4) 再 試 験：『白鷗大学試験実施規程』の定める事由により卒業見込生を対象に実施することがあります。
- (5) そ の 他：科目によっては必要に応じて随時試験を行うこともあります。

試験の方法

- (1) 筆記試験
- (2) 実技・実験・実習 等

※定期試験の期間に実施されるのは主に筆記試験を対象としており、その他の評価方法による場合は、担当教員から指示を受けてください。

定期試験 前期および後期の年2回、一定の期間（学事日程参照）と時間割を決めて実施します。

(1) 試験時間割

- ①実施する科目および時間割は、試験期間開始の1週間前までに掲示板および白鷗大学ホームページに発表します。
掲示発表後、時間割の変更が生じた場合、変更・訂正を行うことがあるので、試験前に再度確認してください。
- ②試験期間中の時間区分は、平常授業と異なりますので注意してください。
- ③原則として授業時間割どおりの曜日・時限で実施しますが、合同実施の科目や、試験時間が70分を超える科目など、授業時間割と異なる曜日・時限で実施する科目もありますので、よく確認してください。時間割の見間違いによる未受験は追試験の対象となりません。
- ④週2回開講の科目についてはどちらか一方の曜日・時限で実施します。
- ⑤試験実施教室は、平常授業の実施教室と異なる場合がありますので、確認してください。
また、科目によっては複数の教室で実施する場合がありますので、所属学科・専攻や学籍番号を確認し、間違いのないように試験を受けてください。
- ⑥試験時間割発表後、災害など突発的な事情により試験を実施できなくなった場合の代替日として「試験予備日」を設定していますので、学事日程で確認しておいてください。試験予備日に実施することになった場合は、掲示板およびホームページで連絡します。

(2) 受験資格

受験するにあたり次の条件をすべて満たしていることが必要です。なお、下記以外の事由により受験資格に欠格がある場合には、受験を認めません。

- ①受験しようとする科目について、所定期間に履修登録を完了していること。
- ②学費納入が済んでいること。
- ③原則として、受験しようとする科目の全授業回数の3分の2以上出席している

こと。

※科目担当者が認定します。3分の2以上の出席は、不可抗力による欠席の可能性を考慮してのことであり、3分の1まで欠席しても良いということではありません。

④在学期間中であること。(休学期間、停学期間中ではないこと。)

(3) 受験上の注意

受験の際は次の点によく注意してください。

①受験科目は履修登録した授業科目に限り、未登録の授業科目を受験しても評価の対象にはなりません。

②指定された教室(座席が指定されている場合は指定された座席)で受験すること。

③必ず「学生証」を持参し、机の上に提示すること。(顔写真照合を行うため、表面にシール等が貼られている場合はきちんとはがしておくこと。)

④試験開始より30分以上遅刻した場合は受験できません。また試験開始後40分を経過するまでは退室できません。(ただし、監督者が別に指示する場合はそれに従うこと。)

※公共交通機関の運行不能または20分以上の遅延により、遅刻した場合の受験については、次のとおりとなります。なお、必ず20分以上の延着時分が記載された交通機関の遅延証明書が必要です。

1) 30分以内の遅刻の場合

定期試験を受験するか、追試験を受験するのかを選択してください。追試験の場合は、本校舎教務課または東キャンパス学務課で手続きしてください。

* 試験問題を確認してからの選択は出来ません。

2) 30分以上の遅刻の場合

定期試験を受験することは出来ません。

本校舎教務課または東キャンパス学務課で手続きをし、追試験を受験してください。

⑤筆記用具(ペンケース、下敷き不可)および持込みを許された物以外は、鞆の中に入れて、足元などに置くこと。

携帯電話(スマートフォン)等の電子機器は電源を切って鞆の中に入れること。(時計代わりの使用も認めない。)

⑥ノート、参考書等の持込みが許可されている場合は、自分の物を使用しなければいけません。また「六法」の持込みが許可されている試験において、特に指示が無いにもかかわらず、書込みのある「六法」を持込んだ場合は不正行為とみなします。

⑦電子機器の持込みは教員から特別に指示があった時のみ認められます。(すべて可の場合でも特別に電子機器使用の許可がない場合は持込みは認められません。)

⑧答案用紙(解答の有無にかかわらず)および出席カードに学籍番号および氏名その他必要事項を記入し、必ず提出すること。答案用紙を持ち帰ってはけません。

⑨その他試験会場内における全てのことは、監督者の指示に従うこと。

【受験時の学生証取扱について】

①学生証を忘れた場合

「仮学生証発行願」に必要事項を記入し、200円の証紙を貼付の上、本校舎学生課または東キャンパス学務課に願い出て、「仮学生証」の交付を受けてから受験してください。

仮学生証は、発行当日限り有効です。

受験後、仮学生証は必ず返却してください。

②学生証の印字が消えて読めないおよび顔写真が不鮮明で判別できない場合

学生証不携帯と同様にみなされる可能性があるため、必ず、試験期間前に再発行の手続きをしておいてください。新しい学生証は、申込日の翌日に受渡します。試験開始後に、試験監督者等から指摘をうけた場合は、試験終了後に「①学生証を忘れた場合」と同様、「仮学生証」の発行手続き（および「学生証」の再発行手続き）をしてください。

※「仮学生証」の交付は定期試験期間のみ行います。定期試験の受験以外には使用できません。

(4) 次の場合は失格または無効となります。

- ①指定された時間および試験場で受験しなかった場合
- ②無記名の場合
- ③履修登録をしていない科目を受験した場合
- ④監督者の指示に従わない場合
- ⑤不正行為を行った場合

(5) 不正行為

不正行為があった場合は、ただちに答案を没収し、学則・規程に基づき後日処置（当期試験科目をすべて無効とする、学業特待生資格の喪失、訓告または停学・退学などの懲戒処分）を決定し、学籍、氏名、処置内容などの学内への公示や保護者への告知を行います。

不正行為とは次のようなものをいいます。

- ①本人に代わり受験することおよびそれを他人に依頼すること。
- ②学生証を他人に貸与および他人の学生証を所持・使用すること。
- ③答案の交換およびその援助をすること。
- ④答案ののぞき見や、のぞき見を助けたり強要するような行為および答案を試験会場の外へ持ち出すこと。
- ⑤他人と教示、連絡、相談などをすること。
- ⑥答案用紙を提出せず、持ち帰ること。
- ⑦カンニングペーパーを所持、使用および貸借すること。
- ⑧机や所持品など、自分および他人が見える範囲の物に書込みをすること。
- ⑨持込み許可されていない物を使用すること。
- ⑩持込み許可の有無にかかわらず、参考書・ノート・筆記用具等を貸借すること。
- ⑪試験中に携帯電話を使用すること。
- ⑫その他、上記各項目に類似する不正行為と認められる行為は同じく処置の対象となる。

追 試 験

受験資格のある者が定期試験当日受験することができなかった科目について、『白鷗大学試験実施規程』第8条に該当する場合、所定の手続きを経て認められた

者に対し実施します。

(1) 手続期間

- ①試験時間割発表から、当該試験実施日の翌々日（日曜・祝日を除く）までの事務取扱時間内とします。
- ②実習や就職試験などあらかじめ受験できないことがわかっている場合は、事前に手続きを行い許可を受けてください。
- ③期間内に本校舎教務課または東キャンパス学務課窓口での手続きが困難な場合（入院など）は、必ず手続き期間内に電話で連絡してください。期間以降の対応はできません。

(2) 手続方法

- ①「追試験願」に、欠席理由を証明するために必要な書類（当該試験欠席を裏付ける第三者の証明書）を添えて本校舎教務課または東キャンパス学務課窓口に提出し許可を受けてください。
- ②原則として1科目につき1,000円の受験料を納入しなければなりません。
※免除されるときもあります。

(3) 追試験日程

追試験日、時間割は掲示板および大学のホームページで確認してください。
※受験の際は「学生証」とともに「追試験願控」を提示してください。

【事由および必要書類（当該試験欠席を裏付ける第三者の証明書）】

定期試験欠席の理由	必要な書類	受験料
(1)天災その他の災害	官公庁の発行する被災証明書等	免除
(2)公共交通機関の運行不能または遅延（20分以上の延着をいう。）	20分以上の延着時分が記載された交通機関の遅延証明書	免除
(3)配偶者または二親等以内の親族の死亡による忌引	死亡診断書のコピーまたは会葬礼状	免除
(4)就職試験（教員採用試験、公務員採用試験を含む）、入学試験	就職（採用）試験受験証明書または入学試験受験証明書（大学所定の用紙）	
(5)本学で定められた実習（教育実習、保育実習等）への参加	実習指導室の証明書	免除
(6)負傷または疾病	医師の診断書（欠席当日に安静が必要である旨の記載があるもの） 学校感染症の場合は学校感染症治癒証明書（大学所定の用紙）	△1
(7)裁判員法（平成十六年法律第六十三号）に基づく裁判所からの呼出しに応じた出頭	裁判所が発行する証明書	免除
(8)その他	教務委員会が提出をもとめたもの	△2

△1 学校感染症の場合は受験料免除。

△2 教務委員長の決定により受験料が免除される場合がある。

(4) 注意

- ①(3)配偶者または二親等以内の親族の死亡による忌引きの場合、追試験の対象となる事由に係る期間は配偶者等が死亡した日から起算して7日以内とします。
- ②(4)就職試験等および(5)実習等が遠方で実施される場合は、必要に応じてその前後の移動日も含める場合があります。
- ③(6)の疾病が学校感染症に該当する場合は、医療機関で本学所定の「学校感染症治癒証明書」に記入してもらってください。この場合に限り医師の「診断書」は不要です。
- ④追試験を受験しなかった場合、再度の追試験は行いません。
- ⑤追試験による成績評価は、定期試験での評価に準じます。100%評価となり減点はありません。

再 試 験

再試験は、『白鷗大学試験規程』第10条により年1回学年末に実施します。

第10条 卒業要件単位に不足する単位の数が8単位以内である当該年度に卒業見込の4年生（留年生を含む）は、当該不足を補うのに必要な限りで、次に掲げる要件をすべて満たす科目の試験を再度、受けることができる。

- (1) 当該年度に履修登録を行なった科目であること
 - (2) 成績評価が「D」となった科目であること
 - (3) 当該科目が、各学部教授会が再試験の受験を認めていないものでないこと
- 2 前項の試験は、年1回、学年末に実施する。

(1) 手続期間・再試験日程

手続期間および再試験日、時間割は掲示板で確認してください。
受験の際は「学生証」とともに「再試験願控」を提示してください。

(2) 手続方法

- ①「再試験願」に必要事項を記入し、経営学部生・教育学部生は本校舎教務課、法学部生は東キャンパス学務課窓口へ提出して許可を受けてください。
- ②1科目につき6,000円の受験料を納めてください。

(3) 注意

- ①再試験を受験しなかった場合、追試験は行いません。
- ②再試験で合格となった場合の成績評価は「C2」となります。
- ③再試験の受験を認めていない科目は、下記で確認してください。追加・変更の場合は、掲示板にて案内します。

(4) 再試験の対象とならない科目
【教育学部（2015年度入学者）】

全専攻共通科目			
フレッシュマンセミナー レクリエーション実技 レクリエーション実習 野外運動A(キャンプ) 野外運動B(雪上) 卒業研究 コミュニケーション能力を磨こう 体育実技A/体育実技B(児童教育専攻・英語教育専攻・心理学専攻のみ) 実習科目			
児童教育専攻	スポーツ健康専攻	英語教育専攻	心理学専攻
ゼミナール 保育実践演習	陸上運動Ⅰ 陸上運動Ⅱ 器械運動Ⅰ 器械運動Ⅱ ダンスⅠ ダンスⅡ バスケットボール テニス サッカー 水泳 柔道 剣道 バレーボール 野球(ソフトボール) ラグビー	体づくり運動 スポーツ科学入門 トレーニング実習Ⅰ トレーニング実習Ⅱ ニュースポーツ 野外運動C(アドバンス) 体育・スポーツ実践 事例研究 スポーツ科学実験演習 スポーツ情報科学(入門) スポーツ情報科学(分析) スポーツインターンシップ スポーツインターンシップⅡ 専門演習A 1 専門演習A 2 専門演習B 1 専門演習B 2	英語スタディースキルズ コミュニケーションスキルズ スピーキング&リスニングⅠA スピーキング&リスニングⅠB スピーキング&リスニングⅡA スピーキング&リスニングⅡB ライティング初級 ライティング中級 ライティング上級 アカデミックライティング 音声学演習 課題研究 海外留学 短期海外研修
			心理学研究法 心理学基礎実験演習 心理学実験・調査演習 心理学検査実習Ⅰ 心理学検査実習Ⅱ 心理学相談実習Ⅰ 心理学相談実習Ⅱ 外書講読 心理学特別研究A 心理学特別研究B

共通
試験・成績

4. 成績

評 価

- 単位の認定
単位の修得は、定期試験の結果によりませんが、授業科目によっては教室における授業時間中の筆記試験・レポート提出・平常の学修状況等により、総合的に考慮して判定することがあります。
- 単位認定条件
試験受験資格に、原則として授業への出席（2/3以上）が挙げられているように、単位の認定は、授業への出席を条件とします。
また、学費が完納されない場合は受験しても単位は認定されません。
- 成績評価
学業成績の評価は、シラバスに記載されている評価の方法および以下の基準に基づき行われます。なお、評価の表示は次のようになります。

判定 評価	合 格						不合格	失 格
	100~90点	89~80点	79~70点	69~60点	再試験合格	認 定	59点以下	欠席多 試験・レポート等放棄
	S	A	B	C1	C2	N	D	H

※ C2評価は学部生のみが対象となります。

成績発表

※就職活動等に使用する成績単位修得証明書には、SはA、C1・C2はCと表示され、D・Hは表示されません。Nは修得単位として認定されたもの。

※2年連続履修科目の1年目にあたる科目については、単位が付与されないため評価は「*」と表示されます。

前期科目は8月中旬、通年・後期科目は2月下旬頃発表となります。日程は掲示板等で確認してください。

なお、通年科目の単位付与は、前期および後期の成績を総合して判定し、評価を付けて学年終了時に与えます。従って、半期のみ履修しても、単位は与えられません。

(1) 成績通知表の確認

①成績発表日以降、学内の学生情報端末から「成績通知表」が出力できますので、各自必ず出力し、確認してください。※一定期間、無料で出力できます。

②特に卒業見込生は細心の注意をはらって、科目群ごとの卒業要件単位数が充足されているか確認してください。合計単位数のみの確認では不十分です。科目の偏りに特に注意してください。

③「成績通知表」は成績・単位の修得状況を確認し、卒業要件を考慮しながら履修計画を立てる資料となりますので、大切に保管してください。

④保証人（保護者）住所宛に送付します。郵便事情などにより、到着が遅くなる場合があります。成績調査期間以降に到着した事による、成績調査申し出については一切受け付けられません。必ず学生情報端末より出力し、確認するように注意してください。

※住所を変更した場合は本校舎学生課または東キャンパス学務課で変更の手続きをしてください。また、留学生は学生本人の住所宛に送付します。

成績調査

「成績通知表」で評価を確認し、シラバスに記載された評価方法、評価の基準および試験実施規程に照らし合わせた結果、評価に疑問がある場合には、成績調査を申請することができます。

(1) 成績調査に関する注意事項

①成績調査は、評価に間違いがないかの確認を求めめるためのものであり、成績再考の願い出や情状を求めると、「交渉権」を認めるものではありません。

②所定の期間以降の申請は一切受け付けません。また、学生から直接担当教員に申請することはできません。

(2) 申請方法

本校舎教務課または東キャンパス学務課窓口で「成績調査申請書」を受取り、必要事項を記入の上、所定期間内に提出してください。提出時には必ず「成績通知表」を持参してください。

電話、メール、FAXによる申請はできません。

〔成績調査期間〕

①前期科目…8月中旬の所定の期間

②通年・後期科目…2月下旬の所定の期間

※日程は掲示板等で確認してください。

- (3) 回答について
原則、回答は郵送となります。(一科目郵送料82円を徴収します。)

卒業発表

卒業判定会議終了後、判定結果を保証人（保護者）宛住所に通知するとともに、卒業確定者を、学内掲示板に掲示します。(3月上旬予定)

卒業確定者は、卒業式に出席し、卒業証書・学位記の授与を受けてください。

なお、卒業判定結果に関する電話・メールなどによる問い合わせには一切応じません。

科目履修案内

<全專攻共通>

教 育 課 程

単位制と単位について

大学における教育課程は、「大学設置基準」（文部科学省令の1つ）に定められている単位制に基づいています。

“単位制”とは、所定の科目を履修したうえで、その科目ごとに定められている単位を順次修得し、原則として4年間の在学期間のうちに卒業に必要な単位を修得するという制度です。

単位制における“単位”とは、その科目の内容を会得するのに必要な学修時間を示したものであり、原則として1単位当たり45時間となっています。この時間には授業時間も含まれていますが、それはほんの一部にすぎません。したがって、単に授業を受けるだけではなく、担当教員の学修指導に従い、授業の予習や復習をしたり、自発的な学修をしなければなりません。

単位制と単位は、卒業要件を満たしていくうえで、最も基本的かつ重要な事項ですから、きちんと理解しておいてください。

1. 単位の計算

単位の計算

本学では1コマの授業を90分で行い、これを2時間とし大学設置基準に基づき、本学の学則により次の範囲で単位を計算している。

- ① 講義及び演習については、15時間～30時間までの範囲の授業時間数をもって1単位とする。
- ② 実験・実習及び実技については、30時間～45時間までの範囲の授業時間数をもって1単位とする。

(注)・半期授業回数を15回として計算した場合
・通年授業回数を30回として計算した場合

授業形態別の単位に対する学修時間

授業形態	授業科目の区分	週1回の授業 (1コマ90分)	1単位に対し45時間の学修時間が必要 単位(学修必要時間)	授業回数	週1回の授業に対する 学生の授業時間 外の学修時間
講義科目	基本科目：授業15時間で1単位	半期授業	2単位(90時間)	15回	4時間
		通年授業	4単位(180時間)	30回	
	別に定めた科目：授業30時間で1単位	半期授業	1単位(45時間)	15回	1時間
		通年授業	2単位(90時間)	30回	
演習科目	基本科目：授業30時間で1単位	半期授業	1単位(45時間)	15回	1時間
		通年授業	2単位(90時間)	30回	
	別に定めた科目：授業15時間で1単位	半期授業	2単位(90時間)	15回	4時間
		通年授業	4単位(180時間)	30回	
週2回の科目	通年授業	4単位(180時間)	60回	1時間(週2回で2時間)	
及 実 験 ・ 実 技 科 実 習	基本科目：授業45時間で1単位	学外での 実 習	2単位(90時間)	実習の種類により異なる 仮に1日8時間で計算すると11.3日間	
			4単位(180時間)	実習の種類により異なる 仮に1日8時間で計算すると22.5日間	
	別に定めた科目：授業30時間で1単位	半期授業	1単位(45時間)	15回	1時間
		通年授業	2単位(90時間)	30回	

(授業形態や授業内容、授業開講期間等によって単位数が異なる。)

2. 単位の認定

履修した単位の認定は原則として定期試験の結果によりますが、授業科目によっては教室における授業時間中の筆記試験・レポートの提出・平素の学修状況等により、総合的に考慮して判定することがあります。

3. 授業科目の区分・性格等

授業科目の区分

児童教育専攻・スポーツ健康専攻・英語教育専攻・心理学専攻	
I群	外国語必修科目
II群	外国語・教養選択科目
III群	専攻必修科目
IV群	専門選択科目
V群	卒業研究

* 卒業所要単位には含まれない科目

実 習 科 目*
随 意 科 目*

科目区分の性格

授業科目の性格は、次のように区分されます。

- (1) 必修科目：必ず履修しなければならない科目
- (2) 選択必修科目：定められた一定の範囲の中から、必要な単位数や科目数だけ必ず履修しなければならない科目
- (3) 選択科目：履修するかどうかを自由に選択できる科目
- (4) 実習科目：卒業所要単位には含まれないが、各種免許・資格取得のために必要な実習科目
- (5) 随意科目：卒業所要単位には含まれない科目

セメスター制

1年間に複数学期に分割し、授業科目を学期（セメスター）毎に完結する授業形態をいう。各学期が15週程度の2学期制（前期・後期）の伝統的なセメスター制や、3学期制・4学期制等のセメスター制もある。定期試験や成績発表は学期ごとに行われる。

開講期間等

半期科目…前期又は後期で授業を開講する。
通年科目…1年間を通して授業を開講する。
集中講義…1日に数コマ集中して授業を行ったり、宿泊等で開講する。

4. 履修年次

履修年次 授業科目により、履修できる年次が決められています。これらの科目については、上級年次の学生が下級年次の授業科目を履修することはできますが、下級年次の学生が上級年次の授業科目を履修することはできません。
科目の性質によりステップを踏んで履修した方が学修効果上がるものもあるため、『履修要綱』・「シラバス（講義概要）」を参照し、学修手順に十分配慮して履修してください。

5. 年間最高履修単位数

年間最高履修登録単位数

年間最高履修登録単位数とは、1年間に科目の履修登録ができる単位の上限を示す。すなわち、各年次において1年間に表記の単位を超えて履修登録はできない。よって、卒業までの4年間において、計画的な履修登録が望まれる。但し、実習科目、及び随意科目の履修単位は含まれない。

教育学部 発達科学科				
1年次	2年次	3年次	4年次	合計
45単位	45単位	45単位	45単位	180単位

6. 進級について

進級要件 進級に必要な要件は、ありません。休学等の場合を除き、自動的に4年次まで進級します。
ただし、4年間で卒業要件単位数を充足できない場合は、4年次に留年することになります。

7. 修業年限及び在学年限

修業年限 修業年限（大学で学ぶために必要な期間）は4年です。
在学年限 在学年限（在学可能な期間）は、特別な場合を除き8年です。〔『学則』参照のこと〕

8. 卒業要件

卒業要件 ①4年の修業年限を満たしていること。（休学・停学・除籍の期間は含まれません。）
②学納金を完納していること。

③卒業要件単位を満たしていること。

卒業認定 4年間以上在学し、学納金を完納し、下記の科目群・科目区分ごとの卒業要件単位数を充足した者は、教授会の議を経て、学長より卒業の認定を受けます。卒業の認定を受けた者には、卒業証書が授与されるとともに、“学士（発達科学）”の学位が与えられます。

卒業所要単位数

科目群名	児童教育専攻	スポーツ健康専攻	英語教育専攻	心理学専攻
I群 外国語必修科目	4単位	4単位	4単位	4単位
II群 外国語・教養選択科目	16単位	16単位	16単位	16単位
III群 専攻必修科目	1単位	1単位	1単位	1単位
IV群 専門選択科目	74単位	74単位	74単位	74単位
V群 卒業研究	4単位	4単位	4単位	4単位
自由選択	25単位	25単位	25単位	25単位
合計	124単位	124単位	124単位	124単位
実習科目	(注1)	(注1)	(注1)	(注1)
随意科目	(注2)	(注2)	(注2)	(注2)

(注1) 当該免許・資格に開設された科目の履修を必要とするが、卒業所要単位に含まない。

(注2) 卒業所要単位には含まれない。

9. 再履修について

再履修とは 以前に履修し「不合格」「失格」となった不足単位数を再び同じ科目を履修すること。

再履修方法 上級年次の学生は、下級年次配当科目より授業科目を履修できます。詳細については、「時間割」冊子の『履修登録の手引き』を参照してください。各科目の再履修方法の概要は次のとおりです。

※再登録・未修得の学生も再履修者と同様の手続きが必要になるので、よく確認してください。

なお、クラスを指定している科目もあるので、掲示板等でよく確認してください。

10. カリキュラムの適用について

入学年度のカリキュラムが卒業するまで適用されます。

※カリキュラム、時間割等の資料を参照するときは、入学年度を十分に確認してください。

※科目の追加・変更のある場合は別に案内します。履修規程等も確認してください。

科目履修案内

<専攻別>

I 児童教育専攻

II スポーツ健康専攻

III 英語教育専攻

IV 心理学専攻

教育学部 発達科学科

児童教育専攻

スポーツ健康専攻

英語教育専攻

心理学専攻

I 兒童教育專攻

1. 児童教育専攻

○教育目標

児童教育専攻は、学生一人ひとりの豊かな個性を活かし、国際化する社会の中で広い視野を持ち、乳幼児・園児・児童への深い理解に基づいた実践的な指導力を身につけた、信頼される保育士・幼稚園教諭・小学校教諭を養成する。さらに、教育学および他の関連学問の研究者を目指して大学院へ進学する者、また公務員や民間企業の職員として幅広く活躍できる人材を育成する。

○カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成方針）

幅広く多くの「教養科目」を設置し、教師として多様な教養・能力の育成を図るとともに、英語を中心とした「外国語科目」を必修として国際化に対応できる語学力とコミュニケーション能力の育成を図っています。さらに、情報化社会で信頼される役割を果たすことができるよう「情報処理科目」を充実させています。これらの基礎的な科目は、教員を目指すものばかりでなく、公務員や民間企業においても期待されるものでしょう。また、学生の実践的な指導力の育成のため、小山市教育委員会と連携し学習支援制度を設定しています。これは小学校での実習とともに児童の理解を深め学校の体験的把握ができる機会となっています。さらに教職実践演習でも、小山市教育委員会と連携し学校体験を重視し、実践的な指導力の育成に努めています。また、本学系列の幼稚園をはじめ、多くの幼稚園・保育所とも連携し幼稚園実習・保育実習の充実に努めています。教員採用試験等の対策講座の充実を図っています。

○ディプロマ・ポリシー（学位授与に関する方針）

学生一人ひとりの豊かな個性を活かしさらに伸ばさせ魅力ある個性を育成いたします。国際化する社会において、幅広い視野を養い語学力に基づくコミュニケーション能力によって学校の国際化にも対応できる資質を育成いたします。保育と教育について専門的な知識と実践的な指導力を身につけ、リーダーシップを発揮できる保育士・幼稚園教諭・小学校教諭を養成することを目指しています。卒業後、教育学や関連した学問分野の研究をするための他大学大学院への進学や幅広い知識とコミュニケーション能力をもつ公務員および民間企業職員として活躍できる人材の育成に努めています。そのため教員採用試験・大学院入学試験・公務員採用試験・民間企業採用試験に合格できるよう学生の知識・学力・技能の充実と向上に努めています。

— 各科目の履修方法について —

教育学部の授業科目は、卒業に必要なⅠ群～Ⅴ群及び資格取得に必要な実習等科目によって科目区分されている。Ⅰ群～Ⅴ群ごとに卒業に必要な単位数が決められている。

これに従って単位を修得しなければ、卒業要件を満たすことはできない。

〔Ⅰ教育課程－8. 卒業要件〕（参照）

ここでは、卒業科目とその単位や履修年次および卒業するために必要な単位数などを表で表示している。どれも基本的かつ重要な事項のため、かならず熟読すること。

◆児童教育専攻 卒業所要単位

科目群名	卒業所要単位
I群 外国語必修科目	4単位
II群 外国語・教養選択科目	16単位
III群 専攻必修科目	1単位
IV群 専門選択科目	74単位
V群 卒業研究	4単位
自由選択	25単位
合計	124単位
実習科目	(注1)
随意科目	(注2)

(注1) 当該免許・資格に開設された科目の履修を必要とするが卒業所要単位に含まない。

(注2) 卒業所要単位に含まない。

(1) I群：外国語必修科目

I群：外国語必修科目……計2科目4単位が必修。

(2) II群：外国語・教養選択科目

II群の外国語・教養科目は全て選択科目となり、16単位以上修得すること。

(3) III群：専攻必修科目

III群：専攻必修科目……………1科目1単位必修。

「フレッシュマンセミナー」は文献資料の収集・整理・分析等の方法を学び、情報技術を体得し、教員や他の学生と討論したり準備が必要となる科目である。①大学の学習システムを理解すること。②「学ぶこと」の意味と方法を探ること。③キャンパスライフを豊かに送るために必要な情報を収集すること。④「読む」「書く」「発表する」など基本的能力を身につけることを目的とする。

(4)・(5) IV群：専門選択科目，V群：卒業研究

「ゼミナール」、「卒業研究」について

大学で履修する科目は、講義形式と演習形式に大別される。講義形式の科目は履修者も多く、説明や板書による授業が中心で、とすれば教員が一方向的に内容を教授することが多い。これに対して演習形式の科目では、少人数の学生を対象とし、講義に加えて教員と学生の間でのディスカッションも行われ、双方向の授業が展開される。児童教育専攻には演習形式の科目が多数設定されているが、とりわけ「ゼミナール」と「卒業研究」では、担当教員と学生の間で、学習・研究における指導は言うまでもなく、進路や人生の面にまで及ぶ濃密な人間関係が構築される。すなわち大学生活において最も学問探究の喜びを感じることができ、また人生について思索できる科目である。

3年次に履修する「ゼミナール（通年4単位）」は、担当教員の専門分野ごとに10名前後の学生によって構成される。2年次の後期に教員ごとに研究テーマが発表され、学生は関心のある教員を選択することになる。なお応募人数の状況によっては、志望理由書や面接等によって選考を行うこともある。この科目は必修科目ではないが、4年次の「卒業研究」へとつながる

重要な科目であるので、履修することが望ましい。

4年次で履修する「卒業研究（通年4単位）」は、必修科目である。3年次の「ゼミナール」と同一の教員のもとで指導を受けることを原則とする。「ゼミナール」を履修しなかった学生は、担当教員を新たに選択することになるが、すでに「ゼミナール」から履修している学生だけで定員を満たしている教員の場合、希望に添えないこともある。この科目は卒業論文の作成が中心であり、担当教員の専門分野に即したテーマで論文を構想し、執筆することになる。なお、研究領域によっては実技（制作や演奏等）を伴うことも考えられる。

なお、「卒業研究」は通年で履修することを原則とするが、海外留学等特別の事情が認められた場合に限って、「卒業研究（半期4単位）」を履修することができる。

(6) 自由選択

卒業所要単位にあるように、卒業するためにはⅠ群～Ⅴ群における科目群に必要な卒業所要単位数を修得しなければならない。各必要単位を合計すると99単位となる。卒業の要件の単位は124単位のため、残り25単位を自由選択単位として修得しなければならない。

この25単位には、①Ⅰ群～Ⅴ群の卒業所要単位を超えて修得した単位及び、②他大学・他学部・他専攻履修（一部の科目）で修得した単位を充てることができる。

①②のうち何を選択履修するかは自由であるが、まず所属専攻において何について勉強・研究したいのか、関心を深めたい分野は何であるのかをしっかりと見極めて、与えられた「自由」を十分に生かした4年間の学業プランを練るよう心がけること。

(7) 実習科目

- ・この科目は卒業所要単位として算入されず、年間最高履修登録単位数に含まれない科目である。
- ・教育職員免許状や資格取得のための実習及び、それらに関わる科目のうち卒業所要単位として加算されない科目である。免許や資格取得希望者は該当科目を修得しないと取得ができなくなるので注意すること。

《児童教育専攻》

科目群	該当の免許・資格種類
実習科目	小学校教諭一種免許状
	幼稚園教諭一種免許状
	保育士資格

- ・希望する免許・資格関係科目以外は履修できない。履修方法の詳細は別配付の各入学年度の「免許および資格取得の手引き」を参照のこと。

(8) 他大学・他学部・他専攻等履修科目

教育学部は、他大学、他学部・他専攻（一部の科目）等の授業科目の履修で修得した単位については、自由選択単位として25単位を限度として卒業要件単位に認められることがある。

《他大学履修》

ア. 放送大学

単位互換協定に基づき、『特別聴講学生』として放送大学の科目のうち本学指定科目の履修ができる。

放送大学の出願手続きは、前年度内に行われるため既に本学経由で手続きを完了した者のみの履修となる。

イ. 交換留学制度

オーストラリア（ブリスベン）「グリフィス大学」、アメリカ合衆国（インディアナ）「インディアナ大学」、「トライン大学」、（カリフォルニア）「カリフォルニア州立大学」、（ハワイ）「ハワイ大学」、台湾（台南）「南台科技大學」、（台北）「銘傳大學」、ブラジル連邦共和国（サンパウロ）「サンパウロ州立大学」、ノルウェー（ベルゲン）「ベルゲン大学」、フランス（パリ）「パリ大学」の10の大学と交換留学を行っている。募集要項を掲示するので、希望者は所定期間内に志願し、手続きすること。

《他学部・他専攻履修》

所属専攻で開講されていない科目とするが、履修は開講先の所属生が優先となるため、科目によって履修条件や人数制限等がある場合や事前登録が必要となる場合などがある。

（注）平成27年度の該当科目や履修手続き方法の詳細は、年度始めに掲示等で確認すること。

- ・履修年次、単位、授業内容等は、開講先の学部・学科（専攻）の履修要綱を参照のこと。
- ・授業に関する連絡事項や試験等の連絡は、開講先の学部・学科（専攻）の掲示板を確認すること。

(9) 随意科目

卒業所要単位として算入されず、年間最高履修登録単位数に含まれない科目である。科目が指定され、科目によっては履修対象者が限定されることがある。また、履修制限をすることがあるため、掲示等に注意すること。

(10) 再履修について

2年次以降に係わる履修

再履修とは 履修の結果「不合格」「失格」となった科目を再度履修すること。
必修科目は必ず履修しなければならないが、選択科目は別の科目を履修してもよい。

再履修方法 上級年次の学生は、下級年次担当科目より授業科目を履修できる。
各科目の再履修方法の概要は次のとおりである。
※未修得の学生も再履修者と同様の手続きが必要になる場合やクラスを指定する
場合があるので、掲示等でよく確認すること。

I 群：外国語必修科目 1クラスの人数に制限があるため、学務課の指示に従うこと。再履修クラスを設定したり、クラスに組み入れる場合には先着順で事前登録を実施する場合がある。

II 群：外国語・教養選択科目 開講科目の中から、不足単位分を修得する。別科目を選択してもよい。

III 群：専攻必修科目 (必修) 再履修者の人数に応じて、再履修クラスを開講する場合がある。特別に指示がない場合には、下級年次生の「時間割」に従って履修する。

IV 群：専門選択科目・V 群：卒業研究

- ・特別に指示がない場合には、「時間割」に従って履修する。
- ・ゼミナールや卒業研究科目は、事前に選考を受けなければならない。

上記以外の科目 実習科目…再履修は原則認めない。

2. カリキュラム表（教育学部 発達科学科 児童教育専攻）

科目区分		開講	授業形態	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所要単位	小学校教育コース				幼児教育・保育コース	
					必修	選択			一 小 学 校	一 幼 稚 園	一 幼 稚 園	保 育 士		
Ⅰ 群	外国語 必修科目	通年	演習	英語コミュニケーションⅠ	2		1	4 単 位	必	必	必	必		
		通年	演習	英語コミュニケーションⅡ	2		2		必	必	必	必		
Ⅱ 群	外国語 ・ 教 養 選 択 科 目	半期	演習	基礎英語A		1	1～	16 単 位						
		半期	演習	基礎英語B		1	1～							
		半期	演習	ReadingⅠA		1	1～							
		半期	演習	ReadingⅠB		1	1～							
		半期	演習	ReadingⅡA		1	2～							
		半期	演習	ReadingⅡB		1	2～							
		半期	演習	WritingⅠA		1	1～							
		半期	演習	WritingⅠB		1	1～							
		半期	演習	WritingⅡA		1	2～							
		半期	演習	WritingⅡB		1	2～							
		半期	演習	Vocabulary A		1	1～							
		半期	演習	Vocabulary B		1	1～							
		半2㍻	演習	ドイツ語ⅠA		2	1～							
		半2㍻	演習	ドイツ語ⅠB		2	1～							
		半期	演習	ドイツ語ⅡA		1	2～							
		半期	演習	ドイツ語ⅡB		1	2～							
		半期	演習	ドイツ語ⅢA		1	2～							
		半期	演習	ドイツ語ⅢB		1	2～							
		半期	演習	ドイツ語ⅣA		1	2～							
		半期	演習	ドイツ語ⅣB		1	2～							
		半2㍻	演習	フランス語ⅠA		2	1～							
		半2㍻	演習	フランス語ⅠB		2	1～							
		半期	演習	フランス語ⅡA		1	2～							
		半期	演習	フランス語ⅡB		1	2～							
		半期	演習	フランス語ⅢA		1	2～							
		半期	演習	フランス語ⅢB		1	2～							
		半期	演習	フランス語ⅣA		1	2～							
		半期	演習	フランス語ⅣB		1	2～							
		半2㍻	演習	スペイン語ⅠA		2	1～							
		半2㍻	演習	スペイン語ⅠB		2	1～							
		半期	演習	スペイン語ⅡA		1	2～							
		半期	演習	スペイン語ⅡB		1	2～							
半期	演習	スペイン語ⅢA		1	2～									
半期	演習	スペイン語ⅢB		1	2～									

・「必・選・選必」は希望する免許・資格取得と卒業に対する印

科目区分	開講	授業形態	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所要単位	小学校教育コース		幼児教育・保育コース	
				必修	選択			一 小 学 校	一 幼 稚 園	一 幼 稚 園	保 育 士
Ⅱ 群	半期	演習	スペイン語ⅣA		1	2～	(16単位)				
	半期	演習	スペイン語ⅣB		1	2～					
	半2㍻	演習	中国語ⅠA		2	1～					
	半2㍻	演習	中国語ⅠB		2	1～					
	半期	演習	中国語ⅡA		1	2～					
	半期	演習	中国語ⅡB		1	2～					
	半期	演習	中国語ⅢA		1	2～					
	半期	演習	中国語ⅢB		1	2～					
	半期	演習	中国語ⅣA		1	2～					
	半期	演習	中国語ⅣB		1	2～					
	半2㍻	演習	韓国語ⅠA		2	1～					
	半2㍻	演習	韓国語ⅠB		2	1～					
	半期	演習	韓国語ⅡA		1	2～					
	半期	演習	韓国語ⅡB		1	2～					
	半期	演習	韓国語ⅢA		1	2～					
	半期	演習	韓国語ⅢB		1	2～					
	半期	演習	韓国語ⅣA		1	2～					
	半期	演習	韓国語ⅣB		1	2～					
	半期	講義	歴史学A		2	1～					
	半期	講義	歴史学B		2	1～					
	半期	講義	日本史概論		2	1～					
	半期	講義	外国史概論		2	1～					
	半期	講義	地理学A		2	1～					
	半期	講義	地理学B		2	1～					
	半期	講義	地理学概論(地誌を含む)		2	1～					
	半期	講義	倫理学A		2	1～					
	半期	講義	倫理学B		2	1～					
	半期	講義	応用倫理A		2	1～					
	半期	講義	応用倫理B		2	1～					
	半期	講義	倫理学概論		2	1～					
	半期	講義	哲学A		2	1～					
	半期	講義	哲学B		2	1～					
	半期	講義	哲学概論		2	1～					
	半期	講義	文学A		2	1～					
半期	講義	文学B		2	1～						
半2㍻	講義	論理学		4	1～						

I
児童教育

科目区分	開講	授業形態	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所要単位	小学校教育コース		幼児教育・保育コース	
				必修	選択			一 小 学 校	一 幼 稚 園	一 幼 稚 園	保 育 士
II 群	外国語・ 教養 選択 科目	半期	講義	クリティカルシンキングA		2	1~				
		半期	講義	クリティカルシンキングB		2	1~				
		半期	講義	国語表現法A		2	1~				
		半期	講義	国語表現法B		2	1~				
		半期	講義	美学A		2	1~				
		半期	講義	美学B		2	1~				
		半期	講義	比較文化論A		2	1~				
		半期	講義	比較文化論B		2	1~				
		半期	講義	文化人類学A		2	1~				
		半期	講義	文化人類学B		2	1~				
		半期	講義	社会学A		2	1~				
		半期	講義	社会学B		2	1~				
		半期	講義	法学A（国際法を含む）		2	1~				
		半期	講義	法学B（国際法を含む）		2	1~				
		半期	講義	統計学A		2	1~				
		半期	講義	統計学B		2	1~				
		半期	講義	心理学A		2	1~				
		半期	講義	心理学B		2	1~				
		半期	講義	社会心理学A		2	1~				
		半期	講義	社会心理学B		2	1~				
		半期	講義	政治学A（国際政治を含む）		2	1~				
		半期	講義	政治学B（国際政治を含む）		2	1~				
		半期	講義	情報社会科学A		2	1~				
		半期	講義	情報社会科学B		2	1~				
		半期	講義	環境科学A		2	1~				
		半期	講義	環境科学B		2	1~				
		半期	講義	代数学		2	1~				
		半期	講義	解析学		2	1~				
		半期	講義	数学概論A		2	1~				
		半期	講義	数学概論B		2	1~				
		半期	講義	物理学A		2	1~				
		半期	講義	物理学B		2	1~				
		半期	講義	化学A		2	1~				
		半期	講義	化学B		2	1~				
半期	講義	生物学A		2	1~						
半期	講義	生物学B		2	1~						

(16単位)

・「必・選・選必」は希望する免許・資格取得と卒業に対する印
 ・「<選必>」は、該当コースで該当の免許取得を希望する場合、必修「必」となる。

科目区分	開講	授業形態	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所要単位	小学校教育コース		幼児教育・保育コース		
				必修	選択			一 小 学 校	一 幼 稚 園	一 幼 稚 園	保 育 士	
Ⅱ 群	外国語・教養選択科目	半期	講義	科学史A		2	1～					
		半期	講義	科学史B		2	1～					
		半期	講義	日本国憲法		2	1～	必	必	必	必	
		半期	講義	健康科学		2	1～				必	
		半期	実技	体育実技A		1	1～	必	必	必	必	
		半期	実技	体育実技B		1	1～	必	必	必		
		半期	演習	情報処理		2	1～	必	必	必	必	
		半期	講義	マナーの基本		2	1～					
		半期	講義	キャリアデザイン		2	1～					
		半期	講義	コミュニケーション能力を磨こう		2	1～					
		半期	講義・演習	教養特講		2	1～					
Ⅲ 群	専攻必修科目	半期	演習	フレッシュマンセミナー	1		1	1単位	必	必	必	必
Ⅳ 群	専門選択科目	教科専門科目	半期	講義	国語概説Ⅰ（書写を含む）		2	1～	選必	選必	選必	
			半期	講義	国語概説Ⅱ（書写を含む）		2	3～	選必	選必	選必	
			半期	講義	社会科概説Ⅰ		2	1～	選必			
			半期	講義	社会科概説Ⅱ		2	3～	選必			
			半期	講義	算数概説Ⅰ		2	1～	選必	選必	選必	
			半期	講義	算数概説Ⅱ		2	3～	選必	選必	選必	
			半期	講義	理科概説Ⅰ		2	1～	選必			
			半期	講義	理科概説Ⅱ		2	3～	選必			
			半期	講義	生活科概説Ⅰ		2	1～	選必	選必	選必	
			半期	講義	生活科概説Ⅱ		2	3～	選必	選必	選必	
			半期	講義	家庭科概説Ⅰ		2	1～	選必			
			半期	講義	家庭科概説Ⅱ		2	3～	選必			
			半期	講義	音楽概説Ⅰ		2	1～	選必	選必	選必	
			半期	講義	音楽概説Ⅱ（声楽）		2	3～	選必	選必	選必	
			半期	講義	音楽概説Ⅲ（器楽）		2	3～	選必	選必	選必	
			半期	講義	図画工作概説Ⅰ		2	1～	選必	選必	選必	
			半期	講義	図画工作概説Ⅱ（立体）		2	3～	選必	選必	選必	
			半期	講義	図画工作概説Ⅲ（平面）		2	3～	選必	選必	選必	
			半期	講義	体育概説Ⅰ		2	1～	選必	選必	選必	
			半期	講義	体育概説Ⅱ		2	3～	選必	選必	選必	
			通年	演習	ソルフェージュ		2	1～	選必	選必	選必	必
通年	演習	造形		2	1～	選必	選必	選必	必			
半期	演習	子どもの運動		1	2～	選必	選必	選必	必			

・「必・選・選必」は希望する免許・資格取得と卒業に対する印
 ・◆…該当資格希望者のみ履修可能

児童教育

児童教育

科目区分	開講	授業形態	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所要単位	小学校教育コース		幼児教育・保育コース		
				必修	選択			一 小 学 種 校	一 幼 稚 種 園	一 幼 稚 種 園	保 育 士	
IV 群	専 門 選 択 科 目	教 職 専 門 科 目	半期 講義 教師論		2	2~	(74 単 位)	必	必	必	必	
			半期 講義 教育基礎論		2	1~		必	必	必	必	
			半期 講義 教育心理学		2	1~		必	<選必>	/	/	/
			半期 講義 教育制度論		2	1~		必	必	必		
			半期 講義 教育課程論P		2	3~		必	必	必	必	
			半期 講義 国語科教育法		2	2~		◆必	/	/	/	/
			半期 講義 社会科教育法		2	2~		◆必	/	/	/	/
			半期 講義 算数科教育法		2	2~		◆必	/	/	/	/
			半期 講義 理科教育法		2	2~		◆必	/	/	/	/
			半期 講義 生活科教育法		2	2~		◆必	/	/	/	/
			半期 講義 音楽科教育法		2	2~		◆必	/	/	/	/
			半期 講義 図画工作科教育法		2	2~		◆必	/	/	/	/
			半期 講義 家庭科教育法		2	2~		◆必	/	/	/	/
			半期 講義 体育科教育法		2	2~		◆必	/	/	/	/
			半期 演習 教育法演習A		1	3~		◆選	/	/	/	/
			半期 演習 教育法演習B		1	3~		◆選	/	/	/	/
			半期 演習 教育法演習C		1	3~		◆選	/	/	/	/
			半期 講義 保育内容指導法（健康）		2	3~		/	◆必	必		
			半期 講義 保育内容指導法（人間関係）		2	3~		/	◆必	必		
			半期 講義 保育内容指導法（環境）		2	3~		/	◆必	必		
			半期 講義 保育内容指導法（言葉）		2	3~		/	◆必	必		
			半期 講義 保育内容指導法（表現①）		2	3~		/	◆必	必		
			半期 講義 保育内容指導法（表現②）		2	3~		/	◆必	必		
			半期 講義 保育内容指導法（表現③）		2	3~		/	◆必	必		
			半期 講義 道徳教育の理論と方法P		2	1~		◆必	◆選*1	◆選	/	/
			半期 講義 特別活動の理論と方法P		2	2~		◆必	/	/	/	/
			半期 講義 教育方法論P		2	1~		必	必	必	選必	
	半期 講義 生徒指導論（進路指導を含む）		2	2~	◆必	/		/	/	/		
	半期 講義 教育相談P		2	2~	◆必	◆必		◆必	/	/		
	教科・教職関連科目	半期 講義 児童文学		2	1~	選		選	選			
		通年 演習 歌唱表現		2	2~	選		選	選	選必		
		通年 演習 音楽実技Ⅰ		2	1~	選		選	選	選必		
		通年 演習 音楽実技Ⅱ		2	2~	選		選	選			
通年 演習 音楽実技ⅢA			2	3~								
通年 演習 音楽実技ⅢB			2	4								
半期 演習 リトミック入門			1	2~	選	選	選					

・「必・選・選必」は希望する免許・資格取得と卒業に対する印
 ・◆…該当資格希望者のみ履修可能
 ・「<選必>」は、該当コースで該当の免許取得を希望する場合、必修「必」となる。
 ・*1…小一種+幼一種希望の場合、必修になるため「◆必」となる。

科目区分	開講	授業形態	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所要単位	小学校教育コース				幼児教育・保育コース	
				必修	選択			一 小 学 種	一 幼 稚 種 園	一 幼 稚 種 園	保 育 士		
IV 群 専門 選択 科目	教科・ 教職 関連 科目	通年	演習	リトミック応用		2	3~						
		通年	演習	絵画表現		2	2~	選	選	選	選必		
		半期	演習	造形Ⅱ		1	3~	選	選	選			
		半期	演習	造形教材研究		1	1~	選	選	選			
		半期	講義	幼児教育論		2	2~		選	選			
		半期	講義	比較教育論		2	2~	選	選	選			
		半期	講義	人権教育		2	3~	選	選	選	選		
		半期	講義	特別支援教育概論		2	3~	選	選	選			
		半期	講義	小学校英語教育		2	2~	◆選	/	/	/	/	
		半期	講義	社会福祉		2	1~	/	/	/	/	必	
		半期	講義	社会福祉B		2	1~	/	/	/	/	選必	
		半期	演習	相談援助		1	2~	/	/	/	/	◆必	
		半期	講義	児童家庭福祉		2	1~	/	/	/	/	必	
		半期	講義	児童家庭福祉B		2	1~	/	/	/	/	選必	
		半期	講義	保育原理		2	1~	/	/	/	/	必	
		半期	講義	保育原理Ⅱ		2	2~	/	/	/	/	選必	
		半期	講義	社会的養護		2	2~	/	/	/	/	◆必	
		半期	講義	発達心理学		2	2~	/	/	/	/	<選必>	必
	半期	演習	保育の心理学		1	2~	/	/	/	/	必		
	通年	講義	子どもの保健Ⅰ		4	1~	/	/	/	/	必		
	半期	演習	子どもの保健Ⅱ		1	2~	/	/	/	/	必		
	半2Ⅹ	演習	子どもの食と栄養		2	3~	/	/	/	/	◆必		
	半期	講義	家庭支援論		2	3~	/	/	/	/	◆必		
	半期	演習	保育内容総論		1	2~	/	/	/	/	必		
	半期	演習	保育内容演習（健康）		1	2~	/	/	/	/	必		
	半期	演習	保育内容演習（人間関係）		1	2~	/	/	/	/	必		
	半期	演習	保育内容演習（環境）		1	2~	/	/	/	/	必		
	半期	演習	保育内容演習（言葉）		1	2~	/	/	/	/	必		
	半期	演習	保育内容演習（表現）		1	2~	/	/	/	/	必		
	通年	演習	乳児保育		2	2~	/	/	/	/	必		
	通年	演習	障害児保育		2	3~	/	/	/	/	◆必		
	半期	演習	社会的養護内容		1	2~	/	/	/	/	必		
	通年	演習	保育実践演習		2	2~	/	/	/	/	◆必		
	半期	講義	青年心理学		2	1~	/	/	/	/	選必		
	半期	講義	臨床心理学		2	2~	/	/	/	/	選必		
	半期	講義	比較保育論		2	3~							
半期	演習	児童文化		1	2~						選		

・「必・選・選必」は希望する免許・資格取得と卒業に対する印
 ・◆…該当資格希望者のみ履修可能
 ・「<選必>」は、該当コースで該当の免許取得を希望する場合、必修「必」となる。

児童教育

児童教育

科目区分	開講	授業形態	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所要単位	小学校教育コース		幼児教育・保育コース	
				必修	選択			一 小 学 種 校	一 幼 稚 種 園	一 幼 稚 種 園	保 育 士
IV 群	専門 選択 科目	保育・福祉専門科目	半期 講義 児童学研究法（概説）		2	1～	(74単位)				選
			半期 演習 フィールドワーク		1	1～					選必
			半期 講義 児童学研究法		2	2～					選必
			半期 演習 保育相談支援		1	3～					◆必
			半期 講義 病児病後児保育		2	3～					選必
			半期 講義 地域子育て支援論		2	3～					選必
			半期 演習 言葉表現		1	3～					選必
			半期 演習 遊びと運動		1	3～					選必
			通年 講義 社会保障論		4	3～					
			半期 講義 公的扶助論		2	2～					
			通年 講義 障害者福祉論		4	2～					
			半期 講義 地域福祉		2	2～					
			半期 講義 福祉施設経営論		2	1～					
			半期 講義 ケアマネジメント論		2	3～					
			課題研究	通年 演習 ゼミナール		4		3～			
	学 科 共 通 科 目	半期 講義 造形文化論		2	1～						
		半期 講義 おもちゃ論		2	2～					選	
		半期 講義 福祉とボランティア		2	1～					選	
		半期 講義 レクリエーション理論		2	2～						
		半期 演習 レクリエーション実技		1	2～						
		集中 実習 レクリエーション実習（◆レ）		1	3～						
		集中 演習 野外運動A（キャンプ）		2	1～						
		集中 演習 野外運動B（雪上）		2	1～						
		半期 講義 救急法		2	1～						
		半期 講義 早期英語教育		2	2～						
		半期 演習 e-ラーニング		1	1～						
		半期 演習 教育情報処理		2	1～						
		通年 講義 健康教育リテラシー		4	3～						
		半期 講義 女性学		2	1～						
		半期 演習 TOEIC		1	2～						
半期 演習 TOEFL		1	2～								
特講	半期 講義・演習 専門特講		2								
V 群	卒業研究	通年又は半期 演習 卒業研究		4		4	4単位	必	必	必	必
自由選択		・ II 群の最低修得単位を超えた単位数 ・ IV 群の最低修得単位を超えた単位数 ・ 他学部・他専攻科目（指定科目）					25 単位				
卒業所要単位							124 単位				

・「必・選・選必」は希望する免許・資格取得と卒業に対する印

・◆…該当資格希望者のみ履修可能

・◆レ…レクリエーション・インストラクターの登録者で、教育実習または保育実習を履修していない者のみ履修可能

科目区分	開講	授業形態	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所要単位	小学校教育コース		幼児教育・保育コース	
				必修	選択			一 小 学 校 種	一 幼 稚 園 種	一 幼 稚 園 種	保 育 士
実習科目 ・ 該当の実習を履修	半期	講義	教育実習の事前事後指導 P		1	2～ (注1)	卒業単位に 含まれない (注4)	◆必	◆必	◆必	
	集中	実習	教育実習Ⅰ		4	3～		◆必	◆必*2	◆必	
	集中	実習	教育実習Ⅱ		2	3～		※	◆選*2	※	
	集中	実習	教育実習Ⅲ		2	3～		※	※	※	
	幼：半期 小：集中	演習	教職実践演習（幼・小）(注2)		2	4		◆必	◆必	◆必	
	集中	実習	保育実習Ⅰ		4	2～ (注1)					◆必
	通年	演習	保育実習指導Ⅰ		2	2～ (注1)					◆必
	集中	実習	保育実習Ⅱ		2	3～ (注3)					◆選必
	半期	演習	保育実習指導Ⅱ		1	3～ (注3)					◆選必
	集中	実習	保育実習Ⅲ		2	3～ (注3)					◆選必
半期	演習	保育実習指導Ⅲ		1	3～ (注3)				◆選必		
随意科目	海外研修 等						卒業単位に 含まれない (注4)				

(注1) 3年次で履修

(注2) 教育実習が修了していないと履修できない。

(注3) 4年次で履修

(注4) 該当の実習の事前事後指導と該当の実習が完了しないと単位は付与されない。

◆…該当資格希望者のみ履修可能

*2…小一種+幼一種希望の場合、幼稚園実習は、「教育実習Ⅰ」ではなく、「教育実習Ⅱ」が必修「◆必」となる。

※…許可された者のみ

3. 児童教育専攻 卒業と免許・資格別所要単位数

卒業所要単位	124		
免許・資格名	小学校一種免	幼稚園一種免	保育士
実習科目(注5)	7	7	9
合計単位	131	131	133

(注5) 希望する免許・資格等の該当実習科目の履修を必要とするが、卒業所要単位には含まれない。

II スポーツ健康専攻

1. スポーツ健康専攻

○教育目標

スポーツ健康専攻では、スポーツ・健康科学と教育学について学ぶことができる。中学校・高等学校の保健体育教諭、新しいスポーツや健康産業の担い手となる人材を育てるため、体育・スポーツ科学の基礎理論をベースに、体育実技、専門機器を用いた測定技術や医学的基礎知識の修得、およびスポーツリハビリテーションやレクリエーションなど、教育現場だけでなく広く社会一般で役立つ知識の習得を目的としている。

○カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成方針）

スポーツ健康専攻では、本学の理念・目的を実現するために、一年次から四年次までの教育カリキュラムにおいて、スポーツや健康づくりに関する人文科学系、自然科学系の知識を講義科目から獲得していき、演習科目を通してより学問的知識と実践力との統合を目指します。一年次にはスポーツ健康専攻での学びの全体像に触れるために、「スポーツ科学入門」などの基礎科目から入り、健康に関する基礎理論や実技などを中心に学びます。二年次には、運動やスポーツに関する理論に基づいた実践的な経験が必要という考えから、スポーツビジネスやスポーツ産業、プロスポーツ、スポーツ行政などの現場に実際に関わっている方々の話を聞くことができる「スポーツ実践事例研究」や、行政のスポーツ担当部署や民間のスポーツクラブ、あるいはプロスポーツの現場での「スポーツインターンシップ」などの実践研究科目を設置しています。三年次以降は「専門演習」や「卒業研究」において専門的な理論をさらに深めていきます。これらの科目の中には、教員養成に関わる科目、健康運動指導士資格取得に関わる科目、レクリエーション・インストラクター資格取得に関わる科目を含んでいます。

さらに、多様なスポーツ活動を経験する中で、人間における運動の発生に関する深い洞察力を養い、指導者としての実践力を養成すると共に、スポーツや体育に関する文化、社会ならびに自然科学的な知見を獲得させ、スポーツ文化の一翼を担う人材を育成することを目指しています。

○ディプロマ・ポリシー（学位授与に関する方針）

教育学部所定の期間に在学し、スポーツ健康専攻の教育目標に沿って設定した授業科目を履修して、基準となる単位数を修得することが学位授与の要件です。修得すべき授業科目の中には、講義科目や実技科目のほかに、「専門演習」や「卒業研究」等の科目が含まれています。学位授与の要件を満たすことによって、以下のような知識や能力を身につけることができると考えています。

1. スポーツや健康、健康作りに関する正しく、確かな専門的知識を身につけ、スポーツの現場において、専門的な見地から適切な指導ができること。
2. スポーツと健康作りに関する専門家として、さまざまなスポーツ現場において、あらゆる世代に対応した適切な助言や指導、情報提供ができること。
3. 教育（中等教育）の現場において、保健体育およびスポーツ活動の全般に関して、優れた実践的指導能力が身につけていること。

— 各科目の履修方法について —

教育学部の授業科目は、卒業に必要なⅠ群～Ⅴ群及び資格取得に必要な実習等科目によって科目区分されている。Ⅰ群～Ⅴ群ごとに卒業に必要な単位数が決められている。

これに従って単位を修得しなければ、卒業要件を満たすことはできない。

〔Ⅰ教育課程－8. 卒業要件〕(参照)

ここでは、卒業科目とその単位や履修年次および卒業するために必要な単位数などを表で示している。どれも基本的かつ重要な事項のため、かならず熟読すること。

◆スポーツ健康専攻 卒業所要単位

科目群名	卒業所要単位
Ⅰ群 外国語必修科目	4単位
Ⅱ群 外国語・教養選択科目	16単位
Ⅲ群 専攻必修科目	1単位
Ⅳ群 専門選択科目	74単位
Ⅴ群 卒業研究	4単位
自由選択	25単位
合計	124単位
実習科目	(注1)
随意科目	(注2)

(注1) 当該免許に開設された科目の履修を必要とするが卒業所要単位に含まない。

(注2) 卒業所要単位に含まない。

(1) Ⅰ群：外国語必修科目

Ⅰ群：外国語必修科目……計2科目4単位が必修。

(2) Ⅱ群：外国語・教養選択科目

Ⅱ群の外国語・教養科目は全て選択科目となり、16単位以上修得すること。

(3) Ⅲ群：専攻必修科目

Ⅲ群：専攻必修科目……………1科目1単位必修。

「フレッシュマンセミナー」は文献資料の収集・整理・分析等の方法を学び、情報技術を体得し、教員や他の学生と討論する科目である。具体的には①大学の学習システムを理解すること。②「学ぶこと」の意味と方法を探ること。③キャンパスライフを豊

かに送るために必要な情報を収集すること。④「読む」「書く」「発表する」など基本的能力を身につけることを目的とする。

(4) IV群：専門選択科目

IV群専門選択科目は「教科専門科目」、「教科関連科目」、「教職専門科目」、「学科共通科目」から構成されている。このうち「教職専門科目」は中学・高校の保健体育科教員免許取得に必要な教職の科目を指し、「学科共通科目」は専攻を問わず、教育学部の学生に履修を進める科目が配置されている。以下には「教科専門科目」、「教科関連科目」について、その意味や履修上の注意点を説明する。

「教科専門科目」は保健体育やスポーツに関わる基礎科目であり、教員免許を取得する上で必須となる教科の基礎実技や基礎理論を含んでいる。また、「教科関連科目」は「専攻専門科目」と「実践研究」から成り、「教科専門科目」で学ぶ基礎的な実技や理論を土台として、更なる「専門性」の積み上げを目指す科目である。

スポーツ健康専攻における「専門性」の学びは、体育・スポーツ科学全般に関する「幅広い知識」の獲得と、その中から選択される特定領域における「深い専門的知識」や「研究的探求」とに集約される。このどちらも大切なことであり、「幅広い知識」を得ることなく、特定領域を選択し「研究的探求」を進めていくだけでは、真の意味で「専門性」を身につけたとはいえない。

IV群の「専攻選択科目」のうち、「教科専門科目」は体育・スポーツ科学の基礎を成す「幅広い知識」を学ぶものであり、「教科関連科目」は「深い専門的知識」、「研究的探求」の向上を目指すものである。両者のバランスを考え、バラエティに富む科目構成でカリキュラムは構成されている。

「教科関連科目」のうち「専攻専門科目」は学生個々人の興味関心に基づき、履修科目を選択するものである。体育・スポーツ科学の中で「深い専門的知識」の獲得を目指し、自身の専門領域を絞り込むきっかけとしてもらいたい。

また、「実践研究」は、単なる知識（理論）や運動技術の習得にとどまらず、多様な体育、中でも「専門演習」は「実践研究」の中核を占める科目であり、「研究的探求」を促進することをねらいとするものである。「専門演習」の内容は、体育・スポーツ科学を構成する個々の専門領域ごとに設定されており、各専門領域の視点から、具体的な体育・スポーツ現象に切り込み、その分析や考察の方法、つまり「研究的探求」の方法を学ぶことをねらいとしている。3年次以降、半期ごとに2つ（前後期合わせて4つ）の領域を選択し、4年次の「卒業研究」へつなげるという連続性を持つ重要な科目である。同一教員の開講する「専門演習」は継続して履修することは出来ないが、「深い専門的知識」の前提には「幅広い知識」があることを忘れずに、4つの異なる領域の「専門演習」を履修することを強く推奨する。

(5) V群：卒業研究

「卒業研究」はスポーツ健康専攻における4年次必修の科目であり、卒業論文を作成することを主たるねらいとするものである。

3年次の「専門演習」における学びの中から、自身の最も興味関心のある領域を決定し「卒業研究領域」として選択する。4年次の1年間、選択した領域の指導教員の指導を受けながら、自己の問題意識に基づき研究テーマを設定し、卒業論文の作成に取り組んでいく。具体的には、「研究課題の明確化」、「研究目的の設定」、「研究方法の選択」、「論文としてのまとめ方」など一連の研究遂行に関わる知識や方法を学び、その成果を卒業論文にまとめる。「卒業研究」の履修に際しては、その領域の担当教員の「専門演習」を履修していることを原則とする（3年次に履修した「専門演習」の（最大）4領域の中から「卒業研究」の領域を選択す

る)。この他、3年次終了時点での総単位数の条件等は特に定めない。

なお、「卒業研究」は通年で履修することを原則とするが、海外留学等特別の事情が認められた場合に限って、「卒業研究（半期4単位）」を履修することができる。

(6) 自由選択

卒業所要単位にあるように、卒業するためにはⅠ群～Ⅴ群における科目群に必要な卒業所要単位数を修得しなければならない。各必要単位を合計すると99単位となる。卒業要件単位は124単位のため、残り25単位を自由選択単位として修得しなければならない。この25単位には、①Ⅰ群～Ⅴ群の卒業所要単位を超えて修得した単位及び、②他大学・他学部・他専攻履修（一部の科目）で修得した単位を充てることができる。①②のうち何を選択履修するかは自由であるが、まず所属専攻において何について勉強・研究したいのか、関心を深めたい分野は何であるのかをしっかりと見極めて、与えられた「自由」を十分に生かした4年間の学業プランを練るよう心がけること。

(7) 実習科目

- ・この科目は卒業所要単位として算入されず、年間最高履修登録単位数に含まれない科目である。
- ・教育職員免許状取得のための実習科目のうち卒業所要単位として加算されない科目で、免許状取得希望者は該当科目を修得しないと取得ができなくなるので注意すること。

《スポーツ健康専攻》

科目群	該当免許状
実習科目	中学校教諭一種免許状（保健体育）
	高等学校教諭一種免許状（保健体育）

- ・希望する免許関係科目以外は履修できない。履修方法の詳細は別配付の各入学年度の「免許および資格取得の手引き」を参照のこと。

(8) 他大学・他学部・他専攻等履修科目

教育学部は、他大学、他学部・他専攻（一部の科目）等の授業科目の履修で修得した単位については、自由選択科目として25単位を限度として卒業要件単位に認められることがある。

《他大学履修》

ア. 放送大学

単位互換協定に基づき、『特別聴講学生』として放送大学の科目のうち本学指定科目の履修ができる。

放送大学の出願手続きは、前年度内に行われるため既に本学経由で手続きを完了した者のみの履修となる。

イ. 交換留学制度

オーストラリア（ブリスベン）「グリフィス大学」、アメリカ合衆国（インディアナ）「インディアナ大学」、「トライン大学」、（カリフォルニア）「カリフォルニア州立大学」、（ハワイ）「ハワイ大学」、台湾（台南）「南台科技大學」、（台北）「銘傳大學」、ブラジル連邦共和国（サンパウロ）「サンパウロ州立大学」、ノルウェー（ベルゲン）「ベルゲン大学」、フランス（パリ）「パリ大学」の10の大学と交換留学を行っている。

る。募集要項を掲示するので、希望者は所定期間内に志願し、手続きすること。

《他学部・他専攻履修》

所属専攻で開講されていない科目とするが、履修は開講先の所属生が優先となるため、科目によって履修条件や人数制限等がある場合や事前登録が必要となる場合などがある。

(注) 平成27年度の該当科目や履修手続き方法の詳細は、年度始めに掲示等で確認すること。

- ・履修年次、単位、授業内容等は、開講先の学部・学科（専攻）の履修要綱を参照のこと。
- ・授業に関する連絡事項や試験等の連絡は、開講先の学部・学科（専攻）の掲示板で確認すること。

(9) 随意科目

卒業所要単位として算入されず、年間最高履修登録単位数に含まれない科目である。科目が指定され、科目によっては履修対象者が限定されることがある。また、履修制限をすることがあるため、掲示等に注意すること。

II
スポーツ

(10) 再履修について

2年次以降に係わる履修

再履修とは 履修の結果「不合格」「失格」となった科目を再度履修すること。
必修科目は必ず履修しなければならないが、選択科目は別の科目を履修してもよい。

再履修方法 上級年次の学生は、下級年次配当科目より授業科目を履修できる。
各科目の再履修方法の概要は次のとおりである。

※未修得の学生も再履修者と同様の手続きが必要になる場合やクラスを指定する場合があるので、掲示等でよく確認すること。

I 群：外国語必修科目 1クラスの人数に制限があるため、教務課の指示に従うこと。再履修クラスを設定したり、クラスに組み入れる場合には先着順で事前登録を実施する場合がある。

II 群：外国語・教養選択科目 開講科目の中から、不足単位分を修得する。別科目を選択してもよい。

III 群：専攻必修科目 (必修) 再履修者の人数に応じて、再履修クラスを開講する場合がある。特別に指示がない場合には、下級年次生の「時間割」に従って履修する。

IV 群：専門選択科目・V 群：卒業研究

- ・特別に指示がない場合には、「時間割」に従って履修する。
- ・専門演習や卒業研究の科目は、事前に選考を受けなければならない。

上記以外の科目 実習科目…再履修は原則認めない。

2. カリキュラム表（教育学部 発達科学科 スポーツ健康専攻）

科目区分	開講	授業形態	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所要単位	中一種 (保体)	高一種 (保体)	中一種 高一種 (保体)	
				必修	選択						
I 群	外国語 必修科目	通年	演習	英語コミュニケーションⅠ	2		4単位	必	必	必	
		通年	演習	英語コミュニケーションⅡ	2			必	必	必	
II 群	外国語 ・ 教養 選択 科目	半期	演習	基礎英語A		1	16単位				
		半期	演習	基礎英語B		1		1~			
		半期	演習	ReadingⅠA		1		1~			
		半期	演習	ReadingⅠB		1		1~			
		半期	演習	ReadingⅡA		1		2~			
		半期	演習	ReadingⅡB		1		2~			
		半期	演習	WritingⅠA		1		1~			
		半期	演習	WritingⅠB		1		1~			
		半期	演習	WritingⅡA		1		2~			
		半期	演習	WritingⅡB		1		2~			
		半期	演習	Vocabulary A		1		1~			
		半期	演習	Vocabulary B		1		1~			
		半2㍻	演習	ドイツ語ⅠA		2		1~			
		半2㍻	演習	ドイツ語ⅠB		2		1~			
		半期	演習	ドイツ語ⅡA		1		2~			
		半期	演習	ドイツ語ⅡB		1		2~			
		半期	演習	ドイツ語ⅢA		1		2~			
		半期	演習	ドイツ語ⅢB		1		2~			
		半期	演習	ドイツ語ⅣA		1		2~			
		半期	演習	ドイツ語ⅣB		1		2~			
		半2㍻	演習	フランス語ⅠA		2		1~			
		半2㍻	演習	フランス語ⅠB		2		1~			
		半期	演習	フランス語ⅡA		1		2~			
		半期	演習	フランス語ⅡB		1		2~			
		半期	演習	フランス語ⅢA		1		2~			
		半期	演習	フランス語ⅢB		1		2~			
		半期	演習	フランス語ⅣA		1		2~			
		半期	演習	フランス語ⅣB		1		2~			
		半2㍻	演習	スペイン語ⅠA		2		1~			
		半2㍻	演習	スペイン語ⅠB		2		1~			
		半期	演習	スペイン語ⅡA		1		2~			
		半期	演習	スペイン語ⅡB		1		2~			
半期	演習	スペイン語ⅢA		1	2~						
半期	演習	スペイン語ⅢB		1	2~						

・「必・選・選必」は希望する免許・資格取得と卒業に対する印

科目区分	開講	授業形態	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所要単位	中一種 (保体)	高一種 (保体)	中一種 高一種 (保体)	
				必修	選択						
Ⅱ 群	外国語 ・ 教養 選択 科目	半期	演習	スペイン語ⅣA		1	2～				
		半期	演習	スペイン語ⅣB		1	2～				
		半2㍻	演習	中国語ⅠA		2	1～				
		半2㍻	演習	中国語ⅠB		2	1～				
		半期	演習	中国語ⅡA		1	2～				
		半期	演習	中国語ⅡB		1	2～				
		半期	演習	中国語ⅢA		1	2～				
		半期	演習	中国語ⅢB		1	2～				
		半期	演習	中国語ⅣA		1	2～				
		半期	演習	中国語ⅣB		1	2～				
		半2㍻	演習	韓国語ⅠA		2	1～				
		半2㍻	演習	韓国語ⅠB		2	1～				
		半期	演習	韓国語ⅡA		1	2～				
		半期	演習	韓国語ⅡB		1	2～				
		半期	演習	韓国語ⅢA		1	2～				
		半期	演習	韓国語ⅢB		1	2～				
		半期	演習	韓国語ⅣA		1	2～				
		半期	演習	韓国語ⅣB		1	2～				
		半期	講義	歴史学A		2	1～	(16単位)			
		半期	講義	歴史学B		2	1～				
		半期	講義	日本史概論		2	1～				
		半期	講義	外国史概論		2	1～				
		半期	講義	地理学A		2	1～				
		半期	講義	地理学B		2	1～				
		半期	講義	地理学概論(地誌を含む)		2	1～				
		半期	講義	倫理学A		2	1～				
		半期	講義	倫理学B		2	1～				
		半期	講義	応用倫理A		2	1～				
		半期	講義	応用倫理B		2	1～				
		半期	講義	倫理学概論		2	1～				
		半期	講義	哲学A		2	1～				
		半期	講義	哲学B		2	1～				
		半期	講義	哲学概論		2	1～				
		半期	講義	文学A		2	1～				
		半期	講義	文学B		2	1～				
		半2㍻	講義	論理学		4	1～				

Ⅱ
スポーツ

科目区分	開講	授業形態	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所要単位	中一種 (保体)	高一種 (保体)	中一種 高一種 (保体)
				必修	選択					
II スポーツ 外国語 ・ 教養 選択 科目	半期	講義	クリティカルシンキングA		2	1~	(16単位)			
	半期	講義	クリティカルシンキングB		2	1~				
	半期	講義	国語表現法A		2	1~				
	半期	講義	国語表現法B		2	1~				
	半期	講義	美学A		2	1~				
	半期	講義	美学B		2	1~				
	半期	講義	比較文化論A		2	1~				
	半期	講義	比較文化論B		2	1~				
	半期	講義	文化人類学A		2	1~				
	半期	講義	文化人類学B		2	1~				
	半期	講義	社会学A		2	1~				
	半期	講義	社会学B		2	1~				
	半期	講義	法学A (国際法を含む)		2	1~				
	半期	講義	法学B (国際法を含む)		2	1~				
	半期	講義	統計学A		2	1~				
	半期	講義	統計学B		2	1~				
	半期	講義	心理学A		2	1~				
	半期	講義	心理学B		2	1~				
	半期	講義	社会心理学A		2	1~				
	半期	講義	社会心理学B		2	1~				
	半期	講義	政治学A (国際政治を含む)		2	1~				
	半期	講義	政治学B (国際政治を含む)		2	1~				
	半期	講義	情報社会科学A		2	1~				
	半期	講義	情報社会科学B		2	1~				
	半期	講義	環境科学A		2	1~				
	半期	講義	環境科学B		2	1~				
	半期	講義	代数学		2	1~				
	半期	講義	解析学		2	1~				
	半期	講義	数学概論A		2	1~				
	半期	講義	数学概論B		2	1~				
	半期	講義	物理学A		2	1~				
	半期	講義	物理学B		2	1~				
	半期	講義	化学A		2	1~				
	半期	講義	化学B		2	1~				
	半期	講義	生物学A		2	1~				
	半期	講義	生物学B		2	1~				

・「必・選・選必」は希望する免許・資格取得と卒業に対する印

科目区分	開講	授業形態	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所要単位	中一種 (保体)	高一種 (保体)	中一種 高一種 (保体)		
				必修	選択							
Ⅱ群	外国語・ 教養選択科目	半期	講義	科学史A		2	1~					
		半期	講義	科学史B		2	1~					
		半期	講義	日本国憲法		2	1~					
		半期	演習	情報処理		2	1~					
		半期	講義	マナーの基本		2	1~					
		半期	講義	キャリアデザイン		2	1~					
		半期	講義	コミュニケーション能力を磨こう		2	1~					
		半期	講義・演習	教養特講		2	1~					
Ⅲ群	専攻必修科目	半期	演習	フレッシュマンセミナー	1		1	1単位	必	必	必	
Ⅳ群	専攻 選択科目	基礎 実技	半期	演習	陸上運動Ⅰ		1	1~		選必	選必	選必
			半期	演習	陸上運動Ⅱ		1	1~		選必	選必	選必
			半期	演習	器械運動Ⅰ		1	1~		選必	選必	選必
			半期	演習	器械運動Ⅱ		1	1~		選必	選必	選必
			半期	演習	ダンスⅠ		1	1~		選必	選必	選必
			半期	演習	ダンスⅡ		1	1~		選必	選必	選必
			半期	演習	バスケットボール		1	1~		選必	選必	選必
			半期	演習	テニス		1	1~		選必	選必	選必
			半期	演習	サッカー		1	1~		選必	選必	選必
			集中	演習	水泳		1	1~		選必	選必	選必
			半期	演習	柔道		1	2~		選必	選必	選必
			半期	演習	剣道		1	2~		選必	選必	選必
			半期	演習	バレーボール		1	2~		選必	選必	選必
			半期	演習	野球(ソフトボール)		1	2~		選必	選必	選必
		半期	演習	ラグビー		1	2~		選必	選必	選必	
		半期	演習	体づくり運動		1	2~		必	必	必	
		基礎 理論	半期	講義	体育原理		2	1~		選必	選必	選必
			半期	講義	体育心理学		2	2~		選必	選必	選必
			半期	講義	体育・スポーツ経営学		2	2~		選必	選必	選必
			半期	講義	スポーツ社会学		2	2~		選必	選必	選必
半期	講義		スポーツ行政論		2	2~		選必	選必	選必		
半期	講義		運動学Ⅰ		2	1~		必	必	必		
半期	講義		運動学Ⅱ		2	1~		選必	選必	選必		
半期	講義		スポーツコーチング総論		2	2~		選必	選必	選必		
半期	講義	生理学		2	1~		必	必	必			
半期	講義	運動生理学		2	2~		必	必	必			
半期	講義	公衆衛生学		2	1~		必	必	必			

・「必・選・選必」は希望する免許・資格取得と卒業に対する印

Ⅱ
スポーツ

科目区分	開講	授業形態	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所要単位	中一種 (保体)	高一種 (保体)	中一 高一種 (保体)				
				必修	選択									
II スポーツ	教科専門科目	基礎理論	半期	講義	学校保健Ⅰ		2	1~		必	必	必		
			半期	講義	学校保健Ⅱ		2	1~		必	必	必		
			半期	講義	精神保健学		2	1~		必	必	必		
	専門選択科目	教科関連科目	専攻専門	半期	講義	スポーツ科学入門		2	1~					
				半期	講義	解剖学(基礎)		2	1~					
				半期	講義	競技スポーツ理論		2	1~					
				半期	講義	発育発達学		2	2~					
				半期	講義	トレーニング論Ⅰ		2	2~					
				半期	講義	トレーニング論Ⅱ		2	3~					
				半期	講義	スポーツ指導者論Ⅰ		2	2~					
				半期	講義	スポーツ指導者論Ⅱ		2	3~					
				半期	講義	スポーツ生理学		2	2~		選	選	選	
				半期	講義	スポーツ医学概論		2	2~					
				半期	講義	スポーツ産業論		2	3~					
				半期	講義	スポーツマーケティング		2	3~					
				半期	講義	健康・スポーツの測定と評価		2	3~					
				半期	講義	スポーツリハビリテーション論(テーピングを含む)		2	3~					
				半期	講義	障害者スポーツ		2	3~					
				半期	講義	運動と健康(運動処方論)		2	3~					
				半期	講義	スポーツ栄養学		2	3~					
				半期	講義	スポーツ指導のバイオメカニクス		2	3~					
				半期	演習	トレーニング実習Ⅰ		1	2~					
				半期	演習	トレーニング実習Ⅱ		1	3~					
				半期	演習	ニュースポーツ		1	3~					
				集中	演習	野外運動C(アドバンス)		1	2~					
				半期	講義	スポーツ情報科学(入門)		2	2~					
				半期	演習	スポーツ情報科学(分析)		2	2~					
				実践研究	半期	講義	体育・スポーツ実践事例研究		2	2~				
					集中	演習	スポーツ科学実験演習		1	2~				
					集中	演習	スポーツインターンシップⅠ		1	2~				
	集中	演習	スポーツインターンシップⅡ			1	2~							
	半期	演習	専門演習A1			1	3~							
	半期	演習	専門演習A2			1	3~							
半期	演習	専門演習B1		1	3~									
半期	演習	専門演習B2		1	3~									

(74単位)

・「必・選・選必」は希望する免許・資格取得と卒業に対する印
 ・◆…該当資格希望者のみ履修可能

科目区分	開講	授業形態	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所要単位	中一種 (保体)	高一種 (保体)	中一種 高一種 (保体)			
				必修	選択								
IV群	専門 選択科目	教職 専門 科目	半期	講義	教師論		2	2~			必	必	必
			半期	講義	教育基礎論		2	1~	◆必	◆必	◆必		
			半期	講義	教育心理学		2	1~	◆必	◆必	◆必		
			半期	講義	教育制度論		2	1~	必	必	必		
			半期	講義	教育課程論S		2	3~	必	必	必		
			半期	講義	保健体育科教育法Ⅰ		2	2~	必	必	必		
			半期	講義	保健体育科教育法Ⅱ		2	3~	必	選	必		
			半期	講義	保健体育科教育法Ⅲ(保健)		2	3~	必	必	必		
			半期	講義	保健体育科教育法Ⅳ		2	3~	選	選	選		
			半期	講義	道德教育の理論と方法S		2	1~	◆必	◆選	◆必		
			半期	講義	特別活動の理論と方法S		2	2~	◆必	◆必	◆必		
			半期	講義	教育方法論S		2	1~	◆必	◆必	◆必		
			半期	講義	生徒指導論(進路指導を含む)		2	2~	◆必	◆必	◆必		
			半期	講義	教育相談S		2	2~	◆必	◆必	◆必		
			半期	講義	比較教育論		2	2~	選	選	選		
			半期	講義	人権教育		2	3~	選	選	選		
	学 科 共 通 科 目	半期	講義	造形文化論		2	1~						
		半期	講義	おもちゃ論		2	2~						
		半期	講義	福祉とボランティア		2	1~						
		半期	講義	レクリエーション理論		2	2~						
		半期	演習	レクリエーション実技		1	2~						
		集中	実習	レクリエーション実習(◆レ)		1	3~						
		集中	演習	野外運動A(キャンプ)		2	1~						
		集中	演習	野外運動B(雪上)		2	1~						
		半期	講義	救急法		2	1~						
		半期	講義	早期英語教育		2	2~						
		半期	演習	eラーニング		1	1~						
		半期	演習	教育情報処理		2	1~						
		通年	講義	健康教育リテラシー		4	3~						
		半期	講義	女性学		2	1~						
		半期	演習	TOEIC		1	2~						
		半期	演習	TOEFL		1	2~						
特講	半期	講義・演習	専門特講		2	1~							
V群	卒業研究	通年又は半期	演習	卒業研究	4		4	4単位	必	必	必		
自由選択		・Ⅱ群の最低修得単位を超えた単位数 ・Ⅳ群の最低修得単位を超えた単位数 ・他学部・他専攻科目(指定科目)					25単位						
卒業所要単位							124単位						

Ⅱ
スポーツ

・「必・選・選必」は希望する免許・資格取得と卒業に対する印

・◆…該当資格希望者のみ履修可能

・◆レ…レクリエーション・インストラクターの登録者で、教育実習を履修していない者のみ履修可能

科目区分	開講	授業形態	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所要単位	中一種 (保体)	高一種 (保体)	中一種 高一種 (保体)
				必修	選択					
実習科目 ・ 該当の実習を履修	半期	講義	教育実習の事前事後指導S		1	3~	卒業単位に含めない (注1)	◆必	◆必	◆必
	集中	実習	教育実習Ⅰ		4	3~		◆必	/	◆必
	集中	実習	教育実習Ⅱ		2	3~		/	◆必	/
	集中	実習	教育実習Ⅲ		2	3~		※許可された者のみ		
	集中	演習	教職実践演習(中・高)(注2)		2	4		◆必	◆必	◆必
随意科目	海外研修 等					卒業単位に含めない				

(注1) 教育実習の事前事後指導と該当の実習が完了しないと単位は付与されない。

(注2) 教育実習を修了していないと履修できない。

◆…該当資格希望者のみ履修可能

3. スポーツ健康専攻 卒業・免許別所要単位数

卒業所要単位	124		
免許名	中一種免 (保健体育)	高一種免 (保健体育)	中一種免・高一種免 (保健体育)
実習科目(注3)	7	5	7
合計単位	131	129	131

(注3) 希望する免許に開設された実習科目の履修を必要とするが、卒業所要単位には含まれない。

III 英語教育專攻

1. 英語教育専攻

○教育目標

グローバル化が進む今日の社会において、国際的な視野を持つ人材、そして英語を始めとして外国語能力の高い人材がますます求められている。英語教育専攻においては、小学校、中学校、高等学校の英語教育に関わる教員として優れた人材、および、国際的な視野と高い英語能力を生かして実社会において活躍できるような人材の育成を目指す。

○カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成方針）

本専攻では英語と教育の分野で優れた能力を有する学生を育成するために次のようなカリキュラムを準備している。

1年次の「スタディスキルズ」で、まず英語の4技能の基礎作りを行い、英語コミュニケーションの能力を伸ばすための科目として「コミュニケーションスキルズ」、「スピーキング&リスニング」、「ライティング」および「リーディング&ポキャブラリー」が用意されており、少人数クラスで多くのネイティブ・スピーカーの教師から親身な指導を受けることができる。

そのほかに「英文法」「英語学」「英米文学」「異文化間コミュニケーション」などを学ぶ。また小学校に英語教育が導入されたことに伴い、小学校教諭を目指す人のためには英語教員の免許以外に、小学校教員の免許状を取得できる道も開かれている。

ビジネスの現場で働くことを希望する学生のためには「TOEIC」および「TOEFL」のコースのほかに、キャリア科目、他学部履修として「ビジネス英語」などを履修することもできる。

さらに3年次からは「課題研究」、4年次では「卒業研究」があり、ゼミ形式で、指導教諭を囲んでより専門的な分野の研究に触れ、卒業論文や研究ノートの作成を行う。

○ディプロマ・ポリシー（学位授与に関する方針）

4年間以上在学し、英語教育専攻の教育目標に沿って設定された授業科目を履修して、卒業に必要な単位数を修得することが学位授与の要件となる。

英語教育専攻では次のような人材を育成します。

1. 国際社会の一員としての広い視野と教養を持ち、実践的な英語コミュニケーション能力を有する人材。
2. 資格検定試験（TOEFL、TOEIC、英検など）で自らの英語力を示すことができる人材。
3. 英語コミュニケーション能力育成の指導力を身につけた小中高の教員免許取得者。
4. 一般企業などで必要とされる素養および英語力を持った、総合的な能力を有する人材。
5. 専門性と高度な英語力を習得した上で、さらに大学院への進学や海外留学を目指す人材。

— 各科目の履修方法について —

教育学部の授業科目は、卒業に必要なⅠ群～Ⅴ群及び資格取得に必要な実習等科目によって科目区分されている。

Ⅰ群～Ⅴ群ごとに卒業に必要な単位数が決められている。これに従って単位を修得しなければ、卒業要件を満たすことはできない。「Ⅰ教育課程－8. 卒業要件」(参照)ここでは、卒業科目とその単位や履修年次および卒業するために必要な単位数などを表で示している。どれも基本的かつ重要な事項のため、かならず熟読すること。

◆英語教育専攻 卒業所要単位

科目区分	卒業所要最低単位
Ⅰ群 外国語必修科目	4単位
Ⅱ群 外国語・教養選択科目	16単位
Ⅲ群 専攻必修科目	1単位
Ⅳ群 専門選択科目	74単位
Ⅴ群 卒業研究	4単位
自由選択	25単位
合計	124単位
実習科目	(注1)
随意科目	(注2)

(注1) 当該免許に開設された科目の履修を必要とするが卒業所要単位に含まない。

(注2) 卒業所要単位に含まない。

(1) Ⅰ群：外国語必修科目

Ⅰ群：外国語必修科目……計2科目4単位が必修。

(2) Ⅱ群：外国語・教養選択科目

Ⅱ群の外国語・教養科目は全て選択科目となり、16単位以上修得すること。

(3) Ⅲ群：専攻必修科目

Ⅲ群：専攻必修科目……………1科目1単位必修。

「フレッシュマンセミナー」は文献資料の収集・整理・分析等の方法を学び、情報技術を体得し、教員や他の学生と討論したり準備が必要となる科目である。①大学の学習システムを理解すること。②「学ぶこと」の意味と方法を探ること。③キャンパスライフを豊かに送るために必要な情報を収集すること。④「読む」「書く」「発表する」など基本的能力を身につけることを目的とする。

(4) IV群：専門選択科目

3年次配当科目では、教員になる上で求められる教養や作文力を鍛える場として、「課題研究」（通年4単位）が選択科目として設けられている。本専攻においては、「課題研究」は「卒業研究」の前提科目ではないが、履修した課題研究の担当教員のもとで「卒業研究」を行う場合は、卒業論文を作成することができる。

「海外留学」の単位認定について

英語圏の大学（コミュニティカレッジを含む）のESLコース等に留学して単位を取得した場合は、総授業時間に応じて「海外留学」として32単位を上限とする単位を認定する。この場合の成績評価はNとし、単位認定は留学先が発行した未開封の成績証明書・授業日程・回数・時間数等が明記された資料を提出の上、本専攻の演習科目の認定基準に基づいて行う。

また、留学先で取得した単位のうち、本学と同様の内容の未履修科目がある場合には、学生の申請により、本学の履修規程に定める科目区分（講義または演習）に従って、本学の単位に振り替えることができる（「海外留学」と同様に、成績資料等の提出が必要。成績評価はN）。ただし、留学先で得たいかなる単位も、教員免許の取得に関わる科目（詳細は「免許および資格取得の手引き」を参照）への振り替えは行わないので注意すること。

(5) V群：卒業研究

英語専攻においては、「卒業研究」（通年4単位）が4年次の必修科目として配当されている。本科目においては、3年次までに培った英語での情報取得能力や英語への学的関心に応じて、担当教員の指導のもと研究ノート、研究プロジェクト、または卒業論文を作成する。研究ノートは文献のまとめを主としたものを指す。研究プロジェクトの内容としては、新たな教材や指導法の開発、ディベートや教育ボランティアの活動報告など、多岐の学的活動が含まれる。どのような研究プロジェクトの指導が受けられるかは担当教員によって異なるので、必ず事前に相談すること。なお英語での執筆を希望する人は、「アカデミック・ライティング」を履修していることが前提条件となる。ある一定以上のTOEFLのスコアが必要になることもあるので、担当教員に問い合わせること。

卒業論文と、研究ノート、研究プロジェクトの単位数は変わらないが、長さや内容に違いがある研究ノートと研究プロジェクトの場合は「B」が標準の評価となる。

なお、「卒業研究」は通年で履修することを原則とするが、海外留学等特別の事情が認められた場合に限って、「卒業研究（半期4単位）」を履修することができる。

(6) 自由選択

- ・卒業所要単位にあるように、卒業するためにはI群～V群における科目群に必要な卒業所要単位数を修得しなければならない。各必要単位を合計すると99単位となる。卒業要件単位は124単位のため、残り25単位を自由選択単位として修得しなければならない。この25単位には、①I群～V群の卒業所要単位を超えて修得した単位及び、②他大学・他学部・他専攻履修で修得した単位を充てることことができる。
- ・①②のうち何を選択履修するかは自由であるが、まず所属専攻において何について勉強・研究したいのか、関心を深めたい分野は何であるのかをしっかりと見極めて、与えられた「自由」を十分に生かした4年間の学業プランを練るよう心がけること。

(7) 実習科目

- ・この科目は卒業所要単位として算入されず、年間最高履修登録単位数に含まれない科目である。
- ・教育職員免許状取得のための実習科目のうち卒業所要単位として加算されない科目で、免許状取得希望者は該当科目を修得しないと取得ができなくなるので注意すること。

《英語教育専攻》

科目群	該当免許状
実習科目	中学校教諭一種免許状（英語）
	高等学校教諭一種免許状（英語）

- ・希望する免許関係科目以外は履修できない。履修方法の詳細は別配付の各入学年度の「免許および資格取得の手引き」を参照のこと。

(8) 他大学・他学部・他専攻等履修科目

教育学部は、他大学、他学部・他専攻（一部の科目）等の授業科目の履修で修得した単位については、自由選択単位として25単位を限度として卒業要件単位に認められることがある。

《他大学履修》

ア. 放送大学

単位互換協定に基づき、『特別聴講学生』として放送大学の科目のうち本学指定科目の履修ができる。

放送大学の出願手続きは、前年度内に行われるため既に本学経由で手続きを完了した者のみの履修となる。

イ. 交換留学制度

オーストラリア（ブリスベン）「グリフィス大学」、アメリカ合衆国（インディアナ）「インディアナ大学」、「トライン大学」、（カリフォルニア）カリフォルニア州立大学、（ハワイ）「ハワイ大学」、台湾（台南）「南台科技大學」、（台北）銘傳大學、ブラジル連邦共和国（サンパウロ）「サンパウロ州立大学」、ノルウェー（ベルゲン）「ベルゲン大学」、フランス（パリ）パリ大学の10の大学と交換留学を行っている。募集要項を掲示するので、希望者は所定期間内に志願し、手続きすること。

《他学部・他専攻履修》

所属専攻で開講されていない科目とするが、履修は開講先の所属生が優先となるため、科目によって履修条件や人数制限等がある場合や事前登録が必要となる場合などがある。

（注）平成27年度の該当科目や履修手続き方法の詳細は、年度始めに掲示等で確認すること。

- ・履修年次、単位、授業内容等は、開講先の学部・学科（専攻）の履修要綱を参照のこと。
- ・授業に関する連絡事項や試験等の連絡は、開講先の学部・学科（専攻）の掲示板で確認すること。

(9) 随意科目

卒業所要単位として算入されず、年間最高履修登録単位数に含まれない科目である。

科目が指定され、科目によっては履修対象者が限定されることがある。また、履修制限をすることがあるため、掲示等に注意すること。

(10) 再履修について

2年次以降に係わる履修

再履修とは 履修の結果「不合格」「失格」となった科目を再度履修すること。
必修科目は必ず履修しなければならないが、選択科目は別の科目を履修してもよい。

再履修方法 上級年次の学生は、下級年次配当科目より授業科目を履修できる。
各科目の再履修方法の概要は次のとおりである。

※未修得の学生も再履修者と同様の手続きが必要になる場合やクラスを指定する場合があるので、掲示等でよく確認すること。

I 群：外国語必修科目 1クラスの人数に制限があるため、学務課の指示に従うこと。再履修クラスを設定したり、クラスに組み入れる場合には先着順で事前登録を実施する場合がある。

II 群：外国語・教養選択科目 開講科目の中から、不足単位分を修得する。別科目を選択してもよい。

III 群：専攻必修科目 (必修) 再履修者の人数に応じて、再履修クラスを開講する場合がある。特別に指示がない場合には、下級年次生の「時間割」に従って履修する。

IV 群：専門選択科目・V 群：卒業研究

- ・特別に指示がない場合には、「時間割」に従って履修する。
- ・課題研究や卒業研究の科目は、事前に選考を受けなければならない。

上記以外の科目 実習科目…再履修は原則認めない。

2. カリキュラム表（教育学部 発達科学科 英語教育専攻）

科目区分		開講	授業形態	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所要単位	中一種 (英語)	高一種 (英語)	中一種 高一種 (英語)
					必修	選択					
I 群	外国語 必修科目	半2㍻	演習	英語スタディースキルズ	2		1	4単位	必	必	必
		通年	演習	コミュニケーションスキルズ	2		1		必	必	必
II 群	外国語・ 教養 選択科目	半期	演習	基礎英語A		1	1~	16単位			
		半期	演習	基礎英語B		1	1~				
		半期	演習	Reading I A		1	1~				
		半期	演習	Reading I B		1	1~				
		半期	演習	Reading II A		1	2~				
		半期	演習	Reading II B		1	2~				
		半期	演習	Writing I A		1	1~				
		半期	演習	Writing I B		1	1~				
		半期	演習	Writing II A		1	2~				
		半期	演習	Writing II B		1	2~				
		半期	演習	Vocabulary A		1	1~				
		半期	演習	Vocabulary B		1	1~				
		半2㍻	演習	ドイツ語 I A		2	1~				
		半2㍻	演習	ドイツ語 I B		2	1~				
		半期	演習	ドイツ語 II A		1	2~				
		半期	演習	ドイツ語 II B		1	2~				
		半期	演習	ドイツ語 III A		1	2~				
		半期	演習	ドイツ語 III B		1	2~				
		半期	演習	ドイツ語 IV A		1	2~				
		半期	演習	ドイツ語 IV B		1	2~				
		半2㍻	演習	フランス語 I A		2	1~				
		半2㍻	演習	フランス語 I B		2	1~				
		半期	演習	フランス語 II A		1	2~				
		半期	演習	フランス語 II B		1	2~				
		半期	演習	フランス語 III A		1	2~				
		半期	演習	フランス語 III B		1	2~				
		半期	演習	フランス語 IV A		1	2~				
		半期	演習	フランス語 IV B		1	2~				
		半2㍻	演習	スペイン語 I A		2	1~				
		半2㍻	演習	スペイン語 I B		2	1~				
半期	演習	スペイン語 II A		1	2~						
半期	演習	スペイン語 II B		1	2~						
半期	演習	スペイン語 III A		1	2~						
半期	演習	スペイン語 III B		1	2~						

・「必・選・選必」は希望する免許・資格取得と卒業に対する印

科目区分	開講	授業形態	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所要単位	中一種 (英語)	高一種 (英語)	中一種 高一種 (英語)
				必修	選択					
Ⅱ 群	半期	演習	スペイン語ⅣA		1	2～	(16単位)			
	半期	演習	スペイン語ⅣB		1	2～				
	半2㍻	演習	中国語ⅠA		2	1～				
	半2㍻	演習	中国語ⅠB		2	1～				
	半期	演習	中国語ⅡA		1	2～				
	半期	演習	中国語ⅡB		1	2～				
	半期	演習	中国語ⅢA		1	2～				
	半期	演習	中国語ⅢB		1	2～				
	半期	演習	中国語ⅣA		1	2～				
	半期	演習	中国語ⅣB		1	2～				
	半2㍻	演習	韓国語ⅠA		2	1～				
	半2㍻	演習	韓国語ⅠB		2	1～				
	半期	演習	韓国語ⅡA		1	2～				
	半期	演習	韓国語ⅡB		1	2～				
	半期	演習	韓国語ⅢA		1	2～				
	半期	演習	韓国語ⅢB		1	2～				
	半期	演習	韓国語ⅣA		1	2～				
	半期	演習	韓国語ⅣB		1	2～				
	半期	講義	歴史学A		2	1～				
	半期	講義	歴史学B		2	1～				
	半期	講義	日本史概論		2	1～				
	半期	講義	外国史概論		2	1～				
	半期	講義	地理学A		2	1～				
	半期	講義	地理学B		2	1～				
	半期	講義	地理学概論(地誌を含む)		2	1～				
	半期	講義	倫理学A		2	1～				
	半期	講義	倫理学B		2	1～				
	半期	講義	応用倫理A		2	1～				
	半期	講義	応用倫理B		2	1～				
	半期	講義	倫理学概論		2	1～				
	半期	講義	哲学A		2	1～				
	半期	講義	哲学B		2	1～				
	半期	講義	哲学概論		2	1～				
	半期	講義	文学A		2	1～				
	半期	講義	文学B		2	1～				
	半2㍻	講義	論理学		4	1～				

科目区分	開講	授業形態	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所要単位	中一種 (英語)	高一種 (英語)	中一種 高一種 (英語)
				必修	選択					
Ⅱ 群 外国語・教養選択科目	半期	講義	クリティカルシンキングA		2	1~	(16単位)			
	半期	講義	クリティカルシンキングB		2	1~				
	半期	講義	国語表現法A		2	1~				
	半期	講義	国語表現法B		2	1~				
	半期	講義	美学A		2	1~				
	半期	講義	美学B		2	1~				
	半期	講義	比較文化論A		2	1~				
	半期	講義	比較文化論B		2	1~				
	半期	講義	文化人類学A		2	1~				
	半期	講義	文化人類学B		2	1~				
	半期	講義	社会学A		2	1~				
	半期	講義	社会学B		2	1~				
	半期	講義	法学A (国際法を含む)		2	1~				
	半期	講義	法学B (国際法を含む)		2	1~				
	半期	講義	統計学A		2	1~				
	半期	講義	統計学B		2	1~				
	半期	講義	心理学A		2	1~				
	半期	講義	心理学B		2	1~				
	半期	講義	社会心理学A		2	1~				
	半期	講義	社会心理学B		2	1~				
	半期	講義	政治学A (国際政治を含む)		2	1~				
	半期	講義	政治学B (国際政治を含む)		2	1~				
	半期	講義	情報社会科学A		2	1~				
	半期	講義	情報社会科学B		2	1~				
	半期	講義	環境科学A		2	1~				
	半期	講義	環境科学B		2	1~				
	半期	講義	代数学		2	1~				
	半期	講義	解析学		2	1~				
	半期	講義	数学概論A		2	1~				
	半期	講義	数学概論B		2	1~				
	半期	講義	物理学A		2	1~				
	半期	講義	物理学B		2	1~				
	半期	講義	化学A		2	1~				
半期	講義	化学B		2	1~					
半期	講義	生物学A		2	1~					

・「必・選・選必」は希望する免許・資格取得と卒業に対する印

科目区分	開講	授業形態	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所要単位	中一種 (英語)	高一種 (英語)	中一種 高一種 (英語)		
				必修	選択							
Ⅱ群	外国語・教養選択科目	半期	講義	生物学B		2	1~					
		半期	講義	科学史A		2	1~					
		半期	講義	科学史B		2	1~					
		半期	講義	日本国憲法		2	1~		必	必	必	
		半期	講義	健康科学		2	1~					
		半期	実技	体育実技A		1	1~		必	必	必	
		半期	実技	体育実技B		1	1~		必	必	必	
		半期	演習	情報処理		2	1~		必	必	必	
		半期	講義	マナーの基本		2	1~					
		半期	講義	キャリアデザイン		2	1~					
		半期	講義	コミュニケーション能力を磨こう		2	1~					
		半期	講義・演習	教養特講		2	1~					
Ⅲ群	専攻必修科目	半期	演習	フレッシュマンセミナー	1		1	1単位	必	必	必	
Ⅳ群	専門選択科目	教科専門科目	半期	演習	スピーキング&リスニングⅠA		2	2~	74単位	必	必	必
			半期	演習	スピーキング&リスニングⅠB		2	2~		選	選	選
			半期	演習	スピーキング&リスニングⅡA		2	3~		選	選	選
			半期	演習	スピーキング&リスニングⅡB		2	3~		選	選	選
			半期	演習	リーディング&ボキャブラリーⅠ		2	1~		選	選	選
			半期	演習	リーディング&ボキャブラリーⅡ		2	2~		選	選	選
			半期	演習	リーディング&ボキャブラリーⅢ		2	2~		選	選	選
			半期	演習	ライティング初級		2	1~		選	選	選
			半期	演習	ライティング中級		2	1~		選	選	選
			半期	演習	ライティング上級		2	2~		選	選	選
			半期	演習	アカデミックライティング		2	3~		選	選	選
			半期	演習	基礎英文法		2	1~				
			半期	演習	初級英文法		2	1~		選	選	選
			半期	講義	中級英文法		2	2~		選	選	選
			半期	講義	上級英文法		2	2~		選	選	選
			半期	講義	英語学概論		2	1~		必	必	必
			半期	演習	音声学演習		2	1~		選	選	選
			半期	講義	音声学		2	1~		選	選	選
			半期	講義	英文学概論		2	1~		必	必	必
			半期	講義	米文学概論		2	1~		必	必	必
半期	演習	英米文学Ⅰ		2	2~		選	選	選			
半期	演習	英米文学Ⅱ		2	2~		選	選	選			

・「必・選・選必」は希望する免許・資格取得と卒業に対する印
 ・◆…該当資格希望者のみ履修可能

Ⅲ
英語教育

科目区分	開講	授業形態	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所要単位	中一種 (英語)	高一種 (英語)	中一種 高一種 (英語)
				必修	選択					
IV 群 専門 選択科目	教科 専門 科目	半期	演習	英米文学Ⅲ		2	3~			
		半期	演習	英米文学特講		2	3~	選	選	選
		半期	講義	異文化理解		2	1~	選必	選必	選必
		半期	講義	異文化間コミュニケーション論		2	2~	選必	選必	選必
		半期	講義	英語圏地域研究		2	2~	選必	選必	選必
		半期	演習	ペイシック・イングリッシュ		2	1~			
		半期	講義	アカデミック・レクチャー		2	3~			
		半期	演習	ディスカッション&ディベート		2	3~			
	教職 専門 科目	半期	講義	教師論		2	2~	必	必	必
		半期	講義	教育基礎論		2	1~	◆必	◆必	◆必
		半期	講義	教育心理学		2	1~	◆必	◆必	◆必
		半期	講義	教育制度論		2	1~	必	必	必
		半期	講義	教育課程論S		2	3~	必	必	必
		半期	講義	英語科教育法Ⅰ		2	1~	必	必	必
		半期	講義	英語科教育法Ⅱ		2	2~	必	必	必
		半期	講義	英語科教育法Ⅲ		2	2~	必	必	必
		半期	講義	英語科教育法Ⅳ		2	3~	選	選	選
		半期	講義	道德教育の理論と方法S		2	1~	◆必	◆選	◆必
		半期	講義	特別活動の理論と方法S		2	2~	◆必	◆必	◆必
		半期	講義	教育方法論S		2	1~	◆必	◆必	◆必
		半期	講義	生徒指導論(進路指導を含む)		2	2~	◆必	◆必	◆必
		半期	講義	教育相談S		2	2~	◆必	◆必	◆必
		半期	講義	比較教育論		2	2~	選	選	選
	英語教育 関連科目	半期	講義	教材研究		2	2~	選	選	選
		半期	講義	コミュニケーション英語指導法		2	2~	選	選	選
		半期	講義	小学校英語教育		2	2~	選	選	選
		半期	講義	英語コミュニケーション教育特講		2	1~			
		半期	講義	英語で話す日本文化		2	2~	選	選	選
		通年	演習	課題研究		4	3~			
	留学 海外	集中	演習・講義	海外留学		1~32	1~	(単位認定)		
		集中	演習・講義	短期海外研修		1~6	1~	(単位認定)		
	関連 ビジネス 英語	半期	講義	国際ビジネス英語Ⅰ		2	1~			
		半期	講義	国際ビジネス英語Ⅱ		2	1~			
半期		講義	時事英語Ⅰ		2	1~				
半期		講義	時事英語Ⅱ		2	1~				

・「必・選・選必」は希望する免許・資格取得と卒業に対する印
 ・◆…該当資格希望者のみ履修可能

科目区分		開講	授業形態	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所要単位	中一種 (英語)	高一種 (英語)	中一種 高一種 (英語)		
					必修	選択							
IV群	専門 選択科目	関連科目	ビジネス英語	半期	講義	ビジネス実務		2	1~	(74単位)			
			半期	講義	貿易商務論Ⅰ		2	1~					
			半期	講義	貿易商務論Ⅱ		2	1~					
		学 科 共 通 科 目	半期	講義	造形文化論		2	1~					
			半期	講義	おもちゃ論		2	2~					
			半期	講義	福祉とボランティア		2	1~					
			半期	講義	レクリエーション理論		2	2~					
			半期	演習	レクリエーション実技		1	2~					
			集中	実習	レクリエーション実習 (◆レ)		1	3~					
			集中	演習	野外運動A (キャンプ)		2	1~					
			集中	演習	野外運動B (雪上)		2	1~					
			半期	講義	救急法		2	1~					
			半期	講義	早期英語教育		2	2~					
			半期	演習	e-ラーニング		1	1~					
			半期	演習	教育情報処理		2	1~					
			通年	講義	健康教育リテラシー		4	3~					
			半期	講義	女性学		2	1~					
		半期	演習	TOEIC		1	2~						
		半期	演習	TOEFL		1	2~						
		特講	半期	講義・演習	専門特講		2	1~					
V群	卒業研究	通年又は半期	演習	卒業研究		4	4	4単位	必	必	必		
自由選択		・ II群の最低修得単位を超えた単位数 ・ IV群の最低修得単位を超えた単位数 ・ 他学部・他専攻科目(指定科目)						25単位					
卒業所要単位								124単位					

・「必・選・選必」は希望する免許・資格取得と卒業に対する印

・◆…該当資格希望者のみ履修可能

・◆レ…レクリエーション・インストラクターの登録者で、教育実習を履修していない者のみ履修可能

科目区分	開講	授業形態	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所要単位	中一種 (英語)	高一種 (英語)	中一種 高一種 (英語)
				必修	選択					
実習科目	半期	講義	教育実習の事前事後指導S		1	3~	卒業単位に含めない (注1)	◆必	◆必	◆必
	集中	実習	教育実習Ⅰ		4	3~		◆必		◆必
	集中	実習	教育実習Ⅱ		2	3~			◆必	
	集中	実習	教育実習Ⅲ		2	3~		※許可された者のみ		
	集中	演習	教職実践演習(中・高)(注2)		2	4		◆必	◆必	◆必
随意科目	海外研修 等					卒業単位に含めない				

(注1) 教育実習の事前事後指導と該当の実習が完了しないと単位は付与されない

(注2) 教育実習を修了していないと履修できない。

◆…該当資格希望者のみ履修可能

3. 英語教育専攻 卒業・免許別所要単位数

卒業所要単位	124		
免許名	中一種免 (英語)	高一種免 (英語)	中一種免・高一種免 (英語)
実習科目(注3)	7	5	7
合計単位	131	129	131

(注3) 希望する免許に開設された実習科目の履修を必要とするが、卒業所要単位には含まれない。

IV 心理学専攻

1. 心理学専攻

○教育目標

本専攻の目的は、心理学の基本的な知識と研究法を学修すると同時に、科学的研究にふさわしい態度や思考能力、倫理観を養うことのできる教育を行うことにある。さらに、より専門的な心理学研究や実践につながりうる基礎を身につけ、自己に対する洞察と他者に対して共感することができる人間として、広範な職業領域および地域社会において、心理学の専門性を活かした貢献のできる人材を育成することを目指す。

○カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成方針）

心理学専攻のカリキュラムは、基本的には次のように編成されています。

まず大学生としてスタートを切るための科目から、広い教養を身につけるための科目および心理学入門としての科目、次に心理学を学び研究する上での基本的な知識に関する科目および実験・調査・心理検査などの基本的な技法についての実習科目、そして心理学のさまざまな分野についての科目、さらに心理学を広く社会の中で活かすための実践的な科目へと進んでいきます。

1年次は、大学教育への導入科目である「フレッシュマンセミナー」と、語学や一般教養を学ぶ科目および心理学の基礎科目が中心に配置されています。2年次には心理学実験や調査の実習科目を通して、心理学の研究の基礎を身につけます。

また、2年次以降、より専門性の高い心理学科目が段階的に設置され、心理学のさまざまな領域をバランスよく学ぶことができます。3年次の「心理学特別研究」では、学生が関心をもった領域について、小グループのゼミ形式で教員による指導を受けます。4年次の「卒業研究」では、学生自身が選んだテーマについて、指導教員の下で主体的に研究を行い、卒業論文を作成します。

また本専攻は少人数教育を重視しており、クラス単位そしてゼミ単位において、入学から卒業まで連続性のある“顔の見える”指導を受けることができます。

○ディプロマ・ポリシー（学位授与に関する方針）

必修科目である、入学時の学部共通科目「フレッシュマンセミナー」と外国語科目のほか、教養科目や心理学関連の科目を中心とした選択科目および履修が認められた他大学や他学部他専攻の科目を含む自由選択科目による所定単位を修得し、「卒業研究」を行って卒業論文を作成し、単位として認定されることが学位授与の要件になります。

基礎的な科目から卒業研究に至る、さまざまな心理学関連科目を学ぶことによって、学生は心理学の基本的な知識と研究法を修得し、心理学を学び研究するのにふさわしい態度や思考能力および倫理観を身につけることができます。本専攻で学修したことは、より専門性の高い心理学的研究や実践にもつながるものです。本専攻は、広範な職業領域および地域社会において、心理学の専門性を活かした貢献のできる人材を育成することを最終的に目指しています。

— 各科目の履修方法について —

教育学部の授業科目は、卒業に必要なⅠ群～Ⅴ群及び資格取得に必要な実習等科目によって科目区分されている。Ⅰ群～Ⅴ群ごとに卒業に必要な単位数が決められている。

これに従って単位を修得しなければ、卒業要件を満たすことはできない。

〔Ⅰ教育課程－8. 卒業要件〕(参照)

ここでは、卒業科目とその単位や履修年次および卒業するために必要な単位数などを表で示している。どれも基本的かつ重要な事項のため、かならず熟読すること。

◆心理学専攻 卒業所要単位

科目群名	卒業所要単位
Ⅰ群 外国語必修科目	4単位
Ⅱ群 外国語・教養選択科目	16単位
Ⅲ群 専攻必修科目	1単位
Ⅳ群 専門選択科目	74単位
Ⅴ群 卒業研究	4単位
自由選択	25単位
合計	124単位
実習科目	(注1)
随意科目	(注2)

(注1) 当該免許に開設された科目の履修を必要とするが卒業所要単位に含まない。

(注2) 卒業所要単位に含まない。

(1) Ⅰ群：外国語必修科目

Ⅰ群：外国語必修科目……計2科目4単位が必修。

(2) Ⅱ群：外国語・教養選択科目

Ⅱ群の外国語・教養科目は全て選択科目となり、16単位以上修得すること。

(3) Ⅲ群：専攻必修科目

Ⅲ群：専攻必修科目……………1科目1単位必修。

「フレッシュマンセミナー」は資料の収集・整理・分析等の方法を学び、情報技術を体得し、教員や他の学生と討論を重ねていく

ため、十分な予習復習と積極性が必要となる科目である。①大学の学修システムを理解すること。②「学ぶこと」の意味と方法を探ること。③キャンパスライフを豊かに送るために必要な情報を収集すること。④「読む」「書く」「発表する」など基本的能力を身につけることを目的とする。

(4) IV群：専門選択科目

- ・専門選択科目は、専攻専門科目、教科専門科目、教職専門科目、学科共通科目から成っている。これらの中から選択し、74単位以上履修すること。
- ・「心理学特別研究 A」「心理学特別研究 B」について
これらは選択科目であるが、3年次で少なくともいずれかを履修する必要がある。
本研究は、ゼミ形式による集団指導の形式によって行われる。指導教員との密接な人間関係を経験し、それぞれの教員の主たる研究分野の内容について指導を受け、仲間とともに研究を行うことは、後の卒業研究の際にも、卒業後の進路決定の際にもきわめて重要な経験となるであろう。

(5) V群：卒業研究

- ・「卒業研究」は、必修科目である。それぞれの教員の専門分野によって、卒業研究の名に値するテーマを各自で決めて、担当教員の指導の下、卒業論文を作成することが、同研究の中心課題となるが、他にも指導教員ごとに研究指導が行われる。評価は、卒業論文の内容について行うものとする。
なお、「卒業研究」は通年で履修することを原則とするが、海外留学等特別の事情が認められた場合に限って、「卒業研究（半期4単位）」を履修することができる。

(6) 自由選択

卒業所要単位にあるように、卒業するためにはⅠ群～Ⅴ群における科目群に必要な卒業所要単位数を修得しなければならない。各必要単位を合計すると99単位となる。卒業要件単位は124単位のため、残り25単位を自由選択単位として修得しなければならない。この25単位には、①Ⅰ群～Ⅴ群の卒業所要単位を超えて修得した単位及び、②他大学・他学部・他専攻履修（一部の科目）で修得した単位を充てることができる。①②のうち何を選択履修するかは自由であるが、まず所属専攻において何について勉強・研究したいのか、関心を深めたい分野は何であるのかをしっかりと見極めて、与えられた「自由」を十分に生かした4年間の学業プランを練るよう心がけること。

(7) 実習科目

- ・この科目は卒業所要単位として算入されず、年間最高履修登録単位数に含まれない科目である。
- ・教育職員免許状取得のための実習科目のうち卒業所要単位として加算されない科目で、免許状取得希望者は該当科目を修得しないと取得ができなくなるので注意すること。

《心理学専攻》

科目群	該当免許状
実習科目	中学校教諭一種免許状（社会）
	高等学校教諭一種免許状（公民）

- 希望する免許関係科目以外は履修できない。履修方法の詳細は別配付の各入学年度の「免許および資格取得の手引き」を参照のこと。

(8) 他大学・他学部・他専攻等履修科目

教育学部は、他大学、他学部・他専攻（一部の科目）等の授業科目の履修で修得した単位については、自由選択単位として25単位を限度として卒業要件単位に認められることがある。

《他大学履修》

ア. 放送大学

単位互換協定に基づき、『特別聴講学生』として放送大学の科目のうち本学指定科目の履修ができる。

放送大学の出願手続きは、前年度内に行われるため既に本学経由で手続きを完了した者のみの履修となる。

イ. 交換留学制度

オーストラリア（ブリスベン）「グリフィス大学」、アメリカ合衆国（インディアナ）「インディアナ大学」、「トライン大学」、（カリフォルニア）「カリフォルニア州立大学」、（ハワイ）「ハワイ大学」、台湾（台南）「南台科技大學」、（台北）銘傳大學、ブラジル連邦共和国（サンパウロ）「サンパウロ州立大学」、ノルウェー（ベルゲン）「ベルゲン大学」、フランス（パリ）「パリ大学」の10の大学と交換留学を行っている。募集要項を掲示するので、希望者は所定期間内に志願し、手続きすること。

《他学部・他専攻履修》

所属専攻で開講されていない科目とするが、履修は開講先の所属生が優先となるため、科目によって履修条件や人数制限等がある場合や事前登録が必要となる場合などがある。

（注）平成27年度の該当科目や履修手続き方法の詳細は、年度始めに掲示やガイダンス等で確認すること。

- 履修年次、単位、授業内容等は、開講先の学部・学科（専攻）の履修要綱を参照のこと。
- 授業に関する連絡事項や試験等の連絡は、開講先の学部・学科（専攻）の掲示板で確認すること。

(9) 随意科目

卒業所要単位として算入されず、年間最高履修登録単位数に含まれない科目である。科目が指定され、科目によっては履修対象者が限定されることがある。また、履修制限をすることがあるため、掲示等に注意すること。

(10) 再履修について

2年次以降に係わる履修

再履修とは 履修の結果「不合格」「失格」となった科目を再度履修すること。
必修科目は必ず履修しなければならないが、選択科目は別の科目を履修してもよい。

再履修方法 上級年次の学生は、下級年次配当科目より授業科目を履修できる。
各科目の再履修方法の概要は次のとおりである。

※未修得の学生も再履修者と同様の手続きが必要になる場合やクラスを指定する場合があるので、掲示や4月のガイダンス等によく確認すること。

I 群：外国語必修科目 1クラスの人数に制限があるため、学務課の指示に従うこと。再履修クラスを設定したり、クラスに組み入れる場合には先着順で事前登録を実施する場合がある。

II 群：外国語・教養選択科目 開講科目の中から、不足単位分を修得する。別科目を選択してもよい。

III 群：専攻必修科目 (必修) 再履修者の人数に応じて、再履修クラスを開講する場合がある。特別に指示がない場合には、下級年次生の「時間割」に従って履修する。

IV 群：専門選択科目・V 群：卒業研究

- ・特別に指示がない場合には、「時間割」に従って履修する。
- ・心理学特別研究や卒業研究の科目は、事前に選考を受けなければならない。

上記以外の科目 実習科目…再履修は原則認めない。

2. カリキュラム表（教育学部 発達科学科 心理学専攻）

科目区分		開講	授業形態	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所要単位	中一種(社会)	高一種(公民)	中一種(社会)高一種(公民)	認定心理士
					必修	選択						
I群	外国語必修科目	通年	演習	英語コミュニケーションⅠ	2		1	4単位	必	必	必	必
		通年	演習	英語コミュニケーションⅡ	2		2		必	必	必	必
II群	外国語・教養選択科目	半期	演習	基礎英語A		1	1~	16単位				
		半期	演習	基礎英語B		1	1~					
		半期	演習	ReadingⅠA		1	1~					
		半期	演習	ReadingⅠB		1	1~					
		半期	演習	ReadingⅡA		1	2~					
		半期	演習	ReadingⅡB		1	2~					
		半期	演習	WritingⅠA		1	1~					
		半期	演習	WritingⅠB		1	1~					
		半期	演習	WritingⅡA		1	2~					
		半期	演習	WritingⅡB		1	2~					
		半期	演習	Vocabulary A		1	1~					
		半期	演習	Vocabulary B		1	1~					
		半2㍻	演習	ドイツ語ⅠA		2	1~					
		半2㍻	演習	ドイツ語ⅠB		2	1~					
		半期	演習	ドイツ語ⅡA		1	2~					
		半期	演習	ドイツ語ⅡB		1	2~					
		半期	演習	ドイツ語ⅢA		1	2~					
		半期	演習	ドイツ語ⅢB		1	2~					
		半期	演習	ドイツ語ⅣA		1	2~					
		半期	演習	ドイツ語ⅣB		1	2~					
		半2㍻	演習	フランス語ⅠA		2	1~					
		半2㍻	演習	フランス語ⅠB		2	1~					
		半期	演習	フランス語ⅡA		1	2~					
		半期	演習	フランス語ⅡB		1	2~					
		半期	演習	フランス語ⅢA		1	2~					
		半期	演習	フランス語ⅢB		1	2~					
		半期	演習	フランス語ⅣA		1	2~					
		半期	演習	フランス語ⅣB		1	2~					
		半2㍻	演習	スペイン語ⅠA		2	1~					
		半2㍻	演習	スペイン語ⅠB		2	1~					
半期	演習	スペイン語ⅡA		1	2~							
半期	演習	スペイン語ⅡB		1	2~							
半期	演習	スペイン語ⅢA		1	2~							
半期	演習	スペイン語ⅢB		1	2~							

：「必・選・選択」は希望する免許・資格取得と卒業に対する印
 ；認定心理士科目の印は、2013年度4月現在のカリキュラムに基づく。

科目区分	開講	授業形態	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所要単位	中一種 (社会)	高一種 (公民)	中一種 (社会) 高一種 (公民)	認定 心理士
				必修	選択						
Ⅱ群 外国語・ 教養 選択科目	半期	演習	スペイン語ⅣA		1	2～	(16単位)				
	半期	演習	スペイン語ⅣB		1	2～					
	半2㍻	演習	中国語ⅠA		2	1～					
	半2㍻	演習	中国語ⅠB		2	1～					
	半期	演習	中国語ⅡA		1	2～					
	半期	演習	中国語ⅡB		1	2～					
	半期	演習	中国語ⅢA		1	2～					
	半期	演習	中国語ⅢB		1	2～					
	半期	演習	中国語ⅣA		1	2～					
	半期	演習	中国語ⅣB		1	2～					
	半2㍻	演習	韓国語ⅠA		2	1～					
	半2㍻	演習	韓国語ⅠB		2	1～					
	半期	演習	韓国語ⅡA		1	2～					
	半期	演習	韓国語ⅡB		1	2～					
	半期	演習	韓国語ⅢA		1	2～					
	半期	演習	韓国語ⅢB		1	2～					
	半期	演習	韓国語ⅣA		1	2～					
	半期	演習	韓国語ⅣB		1	2～					
	半期	講義	歴史学A		2	1～					
	半期	講義	歴史学B		2	1～					
	半期	講義	地理学A		2	1～					
	半期	講義	地理学B		2	1～					
	半期	講義	倫理学A		2	1～					
	半期	講義	倫理学B		2	1～					
	半期	講義	応用倫理A		2	1～					
	半期	講義	応用倫理B		2	1～					
	半期	講義	哲学A		2	1～					
	半期	講義	哲学B		2	1～					
	半期	講義	文学A		2	1～					
	半期	講義	文学B		2	1～					
	半期	講義	クリティカルシンキングA		2	1～					
	半期	講義	クリティカルシンキングB		2	1～					
	半期	講義	国語表現法A		2	1～					
	半期	講義	国語表現法B		2	1～					
	半期	講義	美学A		2	1～					
	半期	講義	美学B		2	1～					

：「必・選・選必」は希望する免許・資格取得と卒業に対する印
 ：認定心理士科目の印は、2013年度4月現在のカリキュラムに基づく。

科目区分	開講	授業形態	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所要単位	中一種 (社会)	高一種 (公民)	中一種 (社会) 高一種 (公民)	認定 心理 士
				必修	選択						
Ⅱ群 外国語・ 教養 選択 科目	半期	講義	比較文化論A		2	1~	(16単位)	選	選	選	
	半期	講義	比較文化論B		2	1~		選	選	選	
	半期	講義	文化人類学A		2	1~		選	選	選	
	半期	講義	文化人類学B		2	1~		選	選	選	
	半期	講義	社会学A		2	1~		選必	選必	選必	
	半期	講義	社会学B		2	1~		選必	選必	選必	
	半期	講義	統計学A		2	1~					選必
	半期	講義	統計学B		2	1~					選必
	半期	講義	心理学A		2	1~					
	半期	講義	心理学B		2	1~					
	半期	講義	社会心理学A		2	1~					
	半期	講義	社会心理学B		2	1~					
	半期	講義	情報社会科学A		2	1~					
	半期	講義	情報社会科学B		2	1~					
	半期	講義	環境科学A		2	1~					
	半期	講義	環境科学B		2	1~					
	半期	講義	代数学		2	1~					
	半期	講義	解析学		2	1~					
	半期	講義	数学概論A		2	1~					
	半期	講義	数学概論B		2	1~					
	半期	講義	物理学A		2	1~					
	半期	講義	物理学B		2	1~					
	半期	講義	化学A		2	1~					
	半期	講義	化学B		2	1~					
	半期	講義	生物学A		2	1~					
	半期	講義	生物学B		2	1~					
	半期	講義	科学史A		2	1~					
	半期	講義	科学史B		2	1~					
	半期	講義	日本国憲法		2	1~			必	必	必
	半期	講義	健康科学		2	1~					
	半期	実技	体育実技A		1	1~			必	必	必
	半期	実技	体育実技B		1	1~			必	必	必
	半期	演習	情報処理		2	1~			必	必	必
	半期	演習	マナーの基本		2	1~					
	半期	演習	キャリアデザイン		2	1~					
	半期	演習	コミュニケーション能力を磨こう		2	1~					
半期	講義・演習	教養特講		2	1~						

：「必・選・選必」は希望する免許・資格取得と卒業に対する印
 ；認定心理士科目の印は、2013年度4月現在のカリキュラムに基づく。

科目区分	開講	授業形態	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所要単位	中一種(社会)	高一種(公民)	中一種(社会)高一種(公民)	認定心理士
				必修	選択						
Ⅲ群 専攻必修科目	半期	演習	フレッシュマンセミナー	1		1	1単位	必	必	必	必
Ⅳ群 専門選択科目	半期	講義	心理学概論A		2	1～	74単位		選	選	選必
	半期	講義	心理学概論B		2	1～			選	選	選必
	半期	講義	社会心理学Ⅰ		2	1～			選	選	選必
	半期	講義	社会心理学Ⅱ		2	1～			選	選	選必
	半期	講義	心理学研究法		2	1～					選必
	半期	講義	心理統計法Ⅰ		2	2～					選必
	半期	講義	心理統計法Ⅱ		2	3～					選必
	半2㍻	演習	心理学基礎実験演習		4	2～					選必
	半2㍻	演習	心理学実験・調査演習		4	2～					選必
	半期	講義	学習心理学		2	2～					選必
	半期	講義	認知心理学		2	2～			選	選	選必
	半期	講義	発達心理学Ⅰ		2	2～			選	選	選必
	半期	講義	発達心理学Ⅱ		2	3～					
	半期	講義	青年心理学Ⅰ		2	2～			選	選	選必
	半期	講義	青年心理学Ⅱ		2	2～			選	選	
	半期	講義	生理心理学		2	2～					選必
	半期	講義	比較心理学		2	2～					選必
	半期	講義	人格心理学		2	2～			選	選	選必
	半期	講義	臨床心理学		2	2～					選必
	半期	講義	健康心理学		2	2～					選必
	半期	講義	心身医学		2	2～					
	集中	講義	障がい児・者心理学		2	2～					選必
	半期	講義	医療心理学		2	3～					
	半期	講義	環境心理学Ⅰ		2	2～			選	選	選必
	半期	講義	環境心理学Ⅱ		2	2～			選	選	
	半期	講義	ビジネス心理学		2	2～					選必
	半期	講義	心理測定法		2	2～					
	半期	演習	心理学検査実習Ⅰ		1	3～					選必
	半期	演習	心理学検査実習Ⅱ		1	3～					
	半期	演習	心理学相談実習Ⅰ		1	3～					
半期	演習	心理学相談実習Ⅱ		1	3～						
半期	講義	神経心理学		2	2～				選必		
半期	講義	人間工学		2	3～						
半期	講義	教育の測定と評価		2	3～				選必		
半期	演習	外書講読		2	3～						

・「必・選・選必」は希望する免許・資格取得と卒業に対する印
 ・◆…該当資格希望者のみ履修可能
 ・認定心理士科目の印は、2013年度4月現在のカリキュラムに基づく。

Ⅳ
心理学

科目区分	開講	授業形態	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所要単位	中一種 (社会)	高一種 (公民)	中一種 (社会) 高一種 (公民)	認定 心理士		
				必修	選択								
IV 心理学	専攻 専門科目	半期	講義	精神分析学Ⅰ		2	2~				選必		
		半期	講義	精神分析学Ⅱ		2	3~						
		半期	講義	体育心理学		2	2~						
		半期	演習	心理学特別研究A		2	3~				選		
		半期	演習	心理学特別研究B		2	3~				選		
		半期	演習・講義	心理学特講Ⅰ		2	1~						
		通年	演習・講義	心理学特講Ⅱ		4	1~						
		半期	講義	キャリア心理学		2	1~						
	教科専門科目	半期	講義	日本史概論		2	1~		必		必		
		半期	講義	外国史概論		2	1~		必		必		
		半期	講義	地理学概論(地誌を含む)		2	1~		必		必		
		半期	講義	倫理学概論		2	1~		選必	選必	選必		
		半期	講義	哲学概論		2	1~		選必	選必	選必		
		半2/3	講義	論理学		4	1~		選	選	選		
		半期	講義	法学概論A(国際法を含む)		2	1~		選必	選必	選必		
		半期	講義	法学概論B(国際法を含む)		2	1~		選必	選必	選必		
		半期	講義	政治学概論A(国際政治を含む)		2	1~		選必	選必	選必		
		半期	講義	政治学概論B(国際政治を含む)		2	1~		選必	選必	選必		
	専門 選択科目	教職 専門科目	半期	講義	教師論		2	2~		必	必	必	
			半期	講義	教育基礎論		2	1~		必	必	必	
			半期	講義	教育心理学		2	1~		必	必	必	選必
			半期	講義	教育制度論		2	1~		必	必	必	
			半期	講義	教育課程論S		2	3~		必	必	必	
			半期	講義	社会科教育法Ⅰ		2	2~		◆必	◆必	◆必	◆
			半期	講義	社会科教育法Ⅱ		2	2~		◆必	◆必	◆必	◆
			半期	講義	社会科教育法Ⅲ		2	2~		◆必	◆必	◆必	◆
			半期	講義	社会科・公民科教育法		2	2~		◆選	◆必	◆必	◆
			半期	講義	公民科教育法		2	2~		◆	◆必	◆必	◆
			半期	講義	道徳教育の理論と方法S		2	1~		必	選	必	
			半期	講義	特別活動の理論と方法S		2	2~		必	必	必	
			半期	講義	教育方法論S		2	1~		◆必	◆必	◆必	◆
			半期	講義	生徒指導論(進路指導を含む)		2	2~		必	必	必	
			半期	講義	教育相談S		2	2~		必	必	必	
半期	講義	比較教育論		2	2~		選	選	選				
半期	講義	人権教育		2	3~		選	選	選				

(74単位)

・「必・選・選必」は希望する免許・資格取得と卒業に対する印
 ・◆…該当資格希望者のみ履修可能
 ・認定心理士科目の印は、2013年度4月現在のカリキュラムに基づく。

科目区分			開講	授業形態	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所要単位	中一種 (社会)	高一種 (公民)	中一種 (社会) 高一種 (公民)	認定 心理士
						必修	選択						
IV群	専門 選択科目	学科 共通科目	半期	講義	造形文化論		2	1~	(74単位)				
			半期	講義	おもちゃ論		2	2~					
			半期	講義	福祉とボランティア		2	1~					
			半期	講義	レクリエーション理論		2	2~					
			半期	演習	レクリエーション実技		1	2~					
			集中	実習	レクリエーション実習		1	3~					
			集中	演習	野外運動A(キャンプ)		2	1~					
			集中	演習	野外運動B(雪上)		2	1~					
			半期	講義	救急法		2	1~					
			半期	講義	早期英語教育		2	2~					
			半期	演習	eラーニング		1	1~					
			半期	演習	教育情報処理		2	1~					
			通年	講義	健康教育リテラシー		4	3~					
			半期	講義	女性学		2	1~					
			半期	演習	TOEIC		1	2~					
			半期	演習	TOEFL		1	2~					
				特講	半期	講義・演習	専門特講			2	1~		
V群	卒業研究	通年又は半期	演習	卒業研究	4		4	4単位	必	必	必	必	
自由選択			・ II群の最低修得単位を超えた単位数 ・ IV群の最低修得単位を超えた単位数 ・ 他学部・他専攻科目(指定科目)					25単位					
卒業所要単位									124単位				

- ・「必・選・選必」は希望する免許・資格取得と卒業に対する印
- ・◆…該当資格希望者のみ履修可能
- ・◆レ…レクリエーション・インストラクターの登録者で、教育実習を履修していない者のみ履修可能
- ・認定心理士科目の印は、2013年度4月現在のカリキュラムに基づく。

科目区分	開講	授業形態	授業科目の名称	単位数		履修年次	卒業所要単位	中一種(社会)	高一種(公民)	中一種(社会) 高一種(公民)	認定心理士
				必修	選択						
実習科目	半期	講義	教育実習の事前事後指導S		1	3~	卒業単位に含めない (注1)	◆必	◆必	◆必	/
	集中	実習	教育実習Ⅰ		4	3~		◆必	/	◆必	/
	集中	実習	教育実習Ⅱ		2	3~		/	◆必	/	/
	集中	実習	教育実習Ⅲ		2	3~		※許可された者のみ		/	/
	集中	演習	教職実践演習(中・高)(注2)		2	4		◆必	◆必	◆必	/
随意科目	海外研修 等					卒業単位に含めない					

(注1) 教育実習の事前事後指導と該当の実習が完了しないと単位は付与されない
 (注2) 教育実習を修了していないと履修できない

◆…該当資格希望者のみ履修可能

3. 心理学専攻 卒業・免許別所要単位数

卒業所要単位	124		
免許名	中一種免(社会)	高一種免(公民)	中一種免(社会) 高一種免(公民)
実習科目(注3)	7	5	7
合計単位	131	129	131

(注3) 希望する免許に開設された実習科目の履修を必要とするが、卒業所要単位には含まれない。

履修要綱等の配布について

この履修要綱は入学時に配布し、卒業まで使用することになります。(在学中1度のみ配布)

履修要綱にはカリキュラムや履修についての基準、試験および成績に関する事項など重要な内容が掲載されています。熟読し、卒業まで活用してください。

なお、履修要綱の記載内容に変更が生じた場合は、掲示板等でお知らせしますので、必ず確認し、指示に従ってください。

また、履修要綱とは別に配布される時間割や学生のでびき（キャンパスガイド）においても、履修登録の手続き方法、試験や授業に関する事項を掲載しますので、合わせて良く確認し、活用してください。

教育職員免許状取得希望者については、実習指導室実施のガイダンス時に配布される「免許および資格取得の手引き」を良く確認してください。

* 教職科目履修の手続きが完了した学生に配布されます。

2015年度 履修要綱

白鷗大学 教育学部

平成27年4月1日 発行

編集・発行 白鷗大学事務局

〒323-8585

栃木県小山市大行寺1117番地

電話 0285-22-1111(代表)

ホームページ <http://hakuoh.jp/>



緑のチェッカーは五大陸を、
青いストライプは三大洋を表し、
広く世界を見つめる姿勢を表現しています。

白鷗大学 教育学部

2015年度生